

阪神港（大阪区、堺泉北区）および 阪南港における台風対策等について

令和8年7月

大阪港海難防止対策委員会

電話 { (緊急時) 06 (6571) 1966 番〔大阪港湾局〕
(通常時) 06 (6571) 0223 番〔大阪海上保安監部〕

目 次

・大阪港台風等災害防止措置実施要領（日本語・英語）	1
・錨泊自肅海域図（日本語・英語）	16
・勧告発表例	18
・大阪湾メッシュチャート	34
・MEMO	35
・台風情報等連絡系統確認表（Ⅰ、Ⅱ、別表1～14-c）	36
・大阪港海難防止対策委員会設置要綱	69
・大阪港海難防止対策委員会委員	71
・阪神港（大阪区、堺泉北区）及び阪南港における 船舶津波対応要領（日本語・英語）	72
・勧告発表例	85
・大阪府津波対策分科会	109
・大阪市津波対策分科会	110
・大阪湾における推奨される避難海域図（概略図）	111

大阪港台風等災害防止措置実施要領

(目 的)

第1条 この要領は、大阪港海難防止対策委員会（以下「委員会」という。）設置要綱の規定に基づき、台風等災害防止措置の実施に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

(委員会の開催時期)

第2条 委員会は、原則として台風等の襲来が予想される2日前から開催する。

(台風等災害防止措置の基準)

第3条 台風等災害防止措置の基準は、次のとおりとする。

区分		台 風 の 状 況	措 置 内 容
第一体制	(避難準備勧告)	台風が大阪湾に接近するおそれがあると判断された場合	1 気象情報を収集し、台風の動向に留意すること。 2 乗組員を招集して荒天準備となし、機関の準備等、必要に応じ運航できる体制とすること。 3 関係先との連絡手段を確保しておくこと。 4 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員 (船橋当直・無線当直等) を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。
第二体制	(大型船等避難勧告)	阪神港 (大阪区、堺泉北区) 及び阪南港が台風の暴風域に入るおそれがあると判断された場合	1 次の船舶は、原則として港外に避難すること。 (1) 大阪区では、1 万総トン以上のばら積危険物積載船舶及び J 岸壁に係留している船舶。 (2) 堺泉北区では、3 万総トン以上の船舶。

第二体制	(大型船等避難勧告)	阪神港(大阪区、堺泉北区)及び阪南港が台風の暴風域に入るおそれがあると判断された場合	2 工事作業船等は、作業等を中止し安全な場所に避難すること。 3 小型船舶は、避泊場所を選定し、時機を失することがないように避泊を開始すること。 4 1,000 総トン以上の大型船舶(フェリー等を除く。)は、原則として入港を見合わせる。 5 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。
	(全船舶避難勧告)	阪神港(大阪区、堺泉北区)及び阪南港が台風の暴風域に入るおそれが必至と判断された場合、あるいは両港が重大な影響を受けると判断された場合	1 1,000 総トン以上の大型船舶は、原則として港外に避難し、保船等万全の措置をとること。 2 小型船舶は、河川、運河等の安全な場所に避難し、厳重な警戒措置をとること。 3 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。
	(錨泊自粛勧告)	阪神港堺泉北区において、暴風又は暴風雪に関する気象警報が発表されるような現象発生があると判断された場合	100 総トン以上の船舶は、原則として堺泉北港栈橋から 3 海里以内の周辺海域(錨泊自粛海域図)での錨泊は避けること。 ※堺泉北港栈橋 ・コスモ石油(株)堺製油所原油栈橋 ・大阪ガス(株)堺北製造所第二工場 LNG 第 2 栈橋 ・関西電力(株)堺 LNG センター栈橋

解 除	第一体制・第二体制 (大型船等・全船舶避難勧告)	台風の影響圏外となり、まもなく平穏となると判断された場合	1 港外に避難した船舶は、安全を確認しつつ再入港する等、適宜の措置をとること。 2 航行制限等の規制等に留意すること。
	第二体制 (錨泊自粛勧告)	阪神港堺泉北区において、暴風又は暴風雪に関する気象警報が解除された場合	

注1) 台風なみに発達した低気圧等による異常な気象に伴う荒天が、阪神港（大阪区、堺泉北区）及び阪南港において予想される場合、別途、大阪港海難防止対策委員会を開催して措置を検討することができることとする。

注2) 第二体制に移行する可能性がある場合には、総トン数100トン以上の船舶に対して、堺泉北港栈橋から3海里以内の海域での錨泊自粛について指導する。

注3) 中心付近の最大風速が40m/s以上の暴風域を伴う台風が大阪湾及び紀伊水道の対象海域に接近する場合、大阪湾・紀伊水道台風等対策協議会の協議結果を受け、第五管区海上保安本部長から海上交通安全法第32条第2項及び港則法第48条第1項の規定に基づき勧告が発出されるので、対象船舶は同勧告に従い避難行動をとることとする。

なお、勧告の発出及び解除は、本実施要領第5条に定める台風情報等連絡系統図により伝達する。

注4) 阪神港堺泉北区において、気象庁から急遽暴風又は暴風雪に関する気象警報が発表された場合、同警報の発表と同時に港長から第二体制（錨泊自粛勧告）の発出を行うので関係船舶等への周知を確実に実施するとともに措置をとることとする。

(台風等災害防止措置の実施時期)

第4条 台風等災害防止措置の実施時期は、それぞれの措置内容を安全に実施するために必要とする時間を考慮して決定する。

(台風等災害防止措置の周知方法)

第5条 台風等災害防止措置の周知方法は、措置区分に応じて次のとおりとする。

(1) 第一体制 (避難準備勧告) (勧告・解除)

伝達手段	伝 達 方 法
電 話 ファクシミリ 電 子 メール	台風情報等連絡系統図(以下「連絡系統」という。)に基づいて通報する。
無線電話等	① 「おおさかポートラジオ」及び「さかいポートラジオ」から CH16 (CH12 に変波) で通報する。 ② 「おおさかマーチス」から CH16 (CH13、14、66 に変波) 及び AIS で通報する。
インターネット	第五管区 海の安全情報 (沿岸域情報提供システム) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/ (パソコン) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/ (携帯)

(2) 第二体制 (大型船等避難勧告) (勧告・解除)

伝達手段	伝 達 方 法
電 話 ファクシミリ 電 子 メール	連絡系統に基づいて通報する。
無線電話等	① 「おおさかポートラジオ」及び「さかいポートラジオ」から CH16 (CH12 に変波) で通報する。 ② 「おおさかマーチス」から CH16 (CH13、14、66 に変波) 及び AIS で通報する。
インターネット	第五管区 海の安全情報 (沿岸域情報提供システム) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/ (パソコン) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/ (携帯)

(3) 第二体制（全船舶避難勧告）（勧告・解除）

伝達手段	伝 達 方 法
電 話 ファクシミリ 電 子 メール	連絡系統に基づいて通報する。
無線電話等	① 「おおさかポータラジオ」及び「さかいポータラジオ」から CH16（CH12 に変波）で通報する。
無線電話等	② 「おおさかマーチス」から CH16（CH13、14、66 に変波）及び AIS で通報する。
インターネット	第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム） https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/ （パソコン） https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/ （携帯）
船艇による サイレン等	大阪海上保安監部、大阪水上警察署等の船艇により、国際信号旗 VL を掲揚し、サイレンを吹鳴し拡声器で通報する。（勧告の場合に限る。）

(4) 第二体制（錨泊自粛勧告）（勧告・解除）

伝達手段	伝 達 方 法
電 話 ファクシミリ 電子メール	連絡系統に基づいて通報する。
無線電話等	① 「おおさかポータラジオ」及び「さかいポータラジオ」から CH16（CH12 に変波）で通報する。 ② 「おおさかマーチス」から CH16（CH13、14、66 に変波）及び AIS で通報する。
インターネット	第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム） https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/ （パソコン） https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/ （携帯）

(避泊位置等の通報)

第6条 港外（防波堤外を含む。）に避難した船舶は、その避泊位置等を速やかに阪神港長又は阪南港長に通報する。通報の方法は次のいずれかとする。

通報手段	通報先	伝達方法
無線電話の場合	① こうべほあん ② おおさかポートラジオ ③ さかいポートラジオ 上記のいずれかCH16で呼出	① 船名、国籍、船種、総トン数、全長、喫水 ② 出港地（避難のため出港した港＝阪神港（大阪区、堺泉北区）又は阪南港等）
船舶電話の場合	阪神港長 06-6571-0223 阪南港長 0724-22-3592	③ 入港地（避難後に入港する港） ④ 投錨時刻
電話ファクシリの場合	阪神港長 06-6572-1700 阪南港長 0724-37-0444	⑤ 投錨位置（経緯度又は別添メッシュチャート番号による。） ⑥ 錨鎖伸出長（右舷、左舷別節数）

(通信連絡手段の確保)

第7条 港外に避難した船舶は、VHF 電話、無線 CH16 の常時聴守を励行する。

附則

この要領は、昭和 60 年 8 月 24 日から施行する。

附則

この要領は、平成 6 年 7 月 28 日から施行する。

附則

この要領は、平成 9 年 6 月 25 日から施行する。

附則

この要領は、平成 13 年 6 月 28 日から施行する。

附則

この要領は、平成 20 年 6 月 17 日から施行する。

附則

この要領は、平成 23 年 6 月 21 日から施行する。

附則

この要領は、平成 25 年 6 月 17 日から施行する。

附則

この要領は、平成 28 年 7 月 29 日から施行する。

附則

この要領は、平成 29 年 6 月 30 日から施行する。

附則

この要領は、平成 30 年 6 月 28 日から施行する。

附則

この要領は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附則

この要領は、令和 2 年 7 月 30 日から施行する。

附則

この要領は、令和 3 年 7 月 1 日から施行する。

附則

この要領は、令和 4 年 6 月 30 日から施行する。

附則

この要領は、令和 5 年 6 月 14 日から施行する。

附則

この要領は、令和 6 年 6 月 26 日から施行する。

Port of Osaka

The Guidelines of Measures for preventing Typhoon or the developed low pressure Disaster

(Objective)

Article1 The objective of this guideline is to establish steps necessary to implement the measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster based on the rule of The Committee of Preventing Maritime Disaster in Osaka Port.(hereinafter called “Committee”).

(Convocation of Committee)

Article2 In principle, the Committee is convened two days prior to the forecasted approach of typhoon.

(Standard measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster)

Article3 Standard measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster are as follows:

Stage of Measures		State of Typhoon	Details of measures
Phase 1	Recommendation for preparing to evacuate	If there is a possibility of a typhoon approach to Osaka Bay.	1 Pay attention for the weather information and the movement of typhoon. 2 Stand by crew on board and stand by engine in order to taking necessary actions against rough weather and sea. 3 Ensure communications means with related parties. 4 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.

Phase 2	Recommendation for large vessels to evacuate	If the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are expected to be covered by the storm zone of a typhoon.	1 The following vessels should, in principle, evacuate from the port (1) In Osaka area, vessels(gross tonnage of 10,000 tons or more) with dangerous cargo in bulk and vessels moored at J wharf. (2) In Sakai Senboku area, vessels(gross tonnage of 30,000 tons or more.) 2 Vessels engaged in construction works should stop works and move to a safe place. 3 Small vessels should anchor at appropriate anchorage or moorage without delay. 4 Large vessels(gross tonnage of 1,000 tons or more)excluding ferry should evacuate from the port, in principle. 5 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.
-----------------------	--	---	---

	Recommendation for all vessels to evacuate	If the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan will surely be covered by the storm zone of a typhoon or expected serious influence.	1 Large vessels(gross tonnage of 1,000 tons or more) should evacuate from the port, in principle. 2 Small vessels should move into the rivers or canals wherever safe and keep strict watch. 3 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.
	Recommendation to avoid anchoring	If a weather phenomenon could potentially arise, such as windstorm or snowstorm related weather warning announcement in the port of Sakai-Senboku area.	In principal, vessels (gross tonnage of 100 tons or more), should not anchor at the area within 3 miles from the port of Sakai-Senboku Piers. (Refer to the reference drawing_Page 15) The port of Sakai-Senboku Piers are as follows; “COSMOSEKIYU GENYU” “OSAKAGAS NO.2 LNG 2” “SAKAI LNG CENTER LNG”

Lift the several Stages	<u>Phase 1 & Phase 2</u> <u>(except Recommendation to avoid anchoring)</u> When it becomes out of the area of typhoon and is determined to be calm soon.	1 Vessels evacuated from the port take appropriate measures such as re-entering the port with paying attention. 2 Note the restrictions such as traffic restriction.
	<u>Recommendation to avoid anchoring</u> When a windstorm or snowstorm related weather warning in the port of Sakai-Senboku area is lifted by Japan Meteorological Agency.	

- ※1. When a storm caused by an abnormal weather such as a low pressure developing to similar a typhoon, is predicted at the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan, the Committee of preventing maritime disaster in Osaka Port is separately held and considers measures for it.
- ※2. When there is possibility to shift to “Phase2”, the Japan Coast Guard announces the Recommendation to avoid anchoring at the area within 3 miles from the port of Sakai-Senboku Piers.
- ※3. When a typhoon with the storm zone (Maximum wind speed near the center is 40m/s or more) approach to the sea area in Osaka Bay and KII Channel, The Commander of 5th Regional Coast Guard Headquarters advise the recommendation following the result of “The Council of Measures for preventing typhoon or the other disasters in Osaka Bay and KII Channel”.
- Therefore, the vessels should take an evacuate action accordingly that recommendation.
- Additionally, announcement and lift of the recommendation is informed by the Communication system on this guidelines article5 (page11).
- The recommendation based on “Maritime Traffic Safety Act” Article32.2 and “Act of Port Regulations Article48.1.
- ※4. Port of Hanshin (Sakai-Senboku area) when Japan Meteorological Agency announced for Sakai-Senboku area about windstorm or snowstorm related weather warning.
- Since the Phase2 (Recommendation to avoid anchoring) will be issued by Captain of the Port at the same time as the warning is announced make sure to inform the related vessels and each of the vessels must take proper measures.

(The implementation of measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster)

Article4 The measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster should be implemented in consideration of the time required to safely implement each measure.

(Notification of the measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster)

Article5 Measures for preventing typhoon or the developed low pressure disaster are notified in the following manner for each Stage.

(1) Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate)

Media	Communication
Telephone Facsimile email	In accordance with the Typhoon Information Communication Flowchart (hereinafter called “Communication Flowchart”).
Radiotelephone etc.	1.On CH16 (switched to CH12) from “Osaka Port Radio” and “Sakai Port Radio”. 2.On CH16 (switched to CH13,14,66) from “Osaka MARTIS”.
Internet	Maritime Information and Communication System https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/(PC site) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/(Mobile site)

(2) Phase 2(Recommendation for large vessels to evacuate)

Media	Communication
Telephone Facsimile email	In accordance with the Communication Flowchart.
Radiotelephone etc.	1.On CH16 (switched to CH12) from “Osaka Port Radio” and “Sakai Port Radio”. 2.On CH16 (switched to CH13,14,66) from “Osaka MARTIS”.
Internet	Maritime Information and Communication System https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/(PC site) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/(Mobile site)

(3) Phase 2(Recommendation for all vessels to evacuate)

Media	Communication
Telephone Facsimile email	In accordance with the Communication Flowchart.
Radiotelephone etc.	1.On CH16 (switched to CH12) from “Osaka Port Radio” and “Sakai Port Radio”. 2.On CH16 (switched to CH13,14,66) from “Osaka MARTIS”.
Internet	Maritime Information and Communication System https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/(PC site) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/(Mobile site)
Siren from crafts etc.	Patrol Crafts of the Osaka Coast Guard Office and Osaka Water Police Station will hoist the international signal flag “VL” and inform sirens and loud speaker (for implementation only).

(4) Phase 2(Recommendation to avoid anchoring)

Media	Communication
Telephone Facsimile email	In accordance with the Communication Flowchart.
Radiotelephone etc.	1.On CH16 (switched to CH12) from “Osaka Port Radio” and “Sakai Port Radio”. 2.On CH16 (switched to CH13,14,66) from “Osaka MARTIS”.
Internet	Maritime Information and Communication System https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/(PC site) https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/(Mobile site)

(Reporting of anchorage positions)

Article6 Vessels evacuated from the port and breakwater shall report anchorage position and other information required in this Article to Captain of the Port, Hanshin or Hannan, immediately.

Reporting method is as follows

Media	Report to:	Information required
Radiotelephone	1) “Kobe Coast Guard Radio” or 2) “Osaka Port Radio” or 3) “Sakai Port Radio” on CH16	1. Vessel’s name, nationality, type of the vessel, gross tonnage, length over all and draft 2. Port stayed before taking refuge 3. Port to re-enter after taking refuge 4. Time anchored 5. Anchorage position in longitude / latitude or the numbers in mesh chart attached, 6. Length of veered anchor chains (starboard or port side)
Vessel Telephone	Captain of the Port, Hanshin: +81-6-6571-0223 Captain of the Port, Hannan: +81-724-22-3592	
Facsimile	Captain of the Port, Hanshin: +81-6-6572-1700 Captain of the Port, Hannan: +81-724-37-0444	

(Securing communication method)

Article7 Vessels taking refuge out of the port are recommended to keep watch on CH16.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of August 24, 1985.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of July 28, 1994.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of June 25, 1997.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of June 28, 2001.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of June 17, 2008.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of June 21, 2011.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of June 17, 2013.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of July 29, 2016.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, June 30 2017.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, June 28 2018.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, April 1 2020.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, July 30 2020.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, July 1 2021.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, June 30 2022.

Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, June 14 2023.

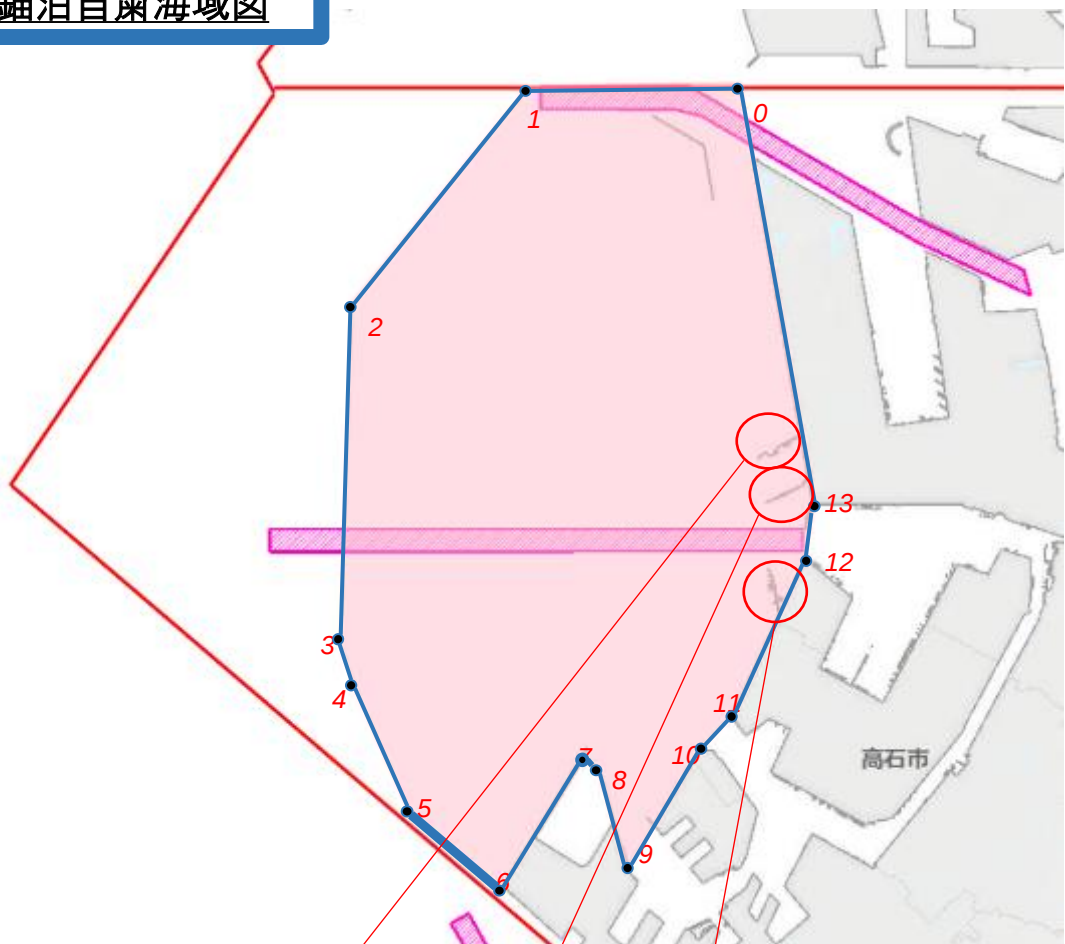
Supplementary clause
This guideline becomes effective as of, June 26 2024.

錨泊自肅海域図

下記地点により囲まれた海域

0 地点：	北緯34度36分31秒	東経135度24分01秒
1 地点：	北緯34度36分30秒	東経135度22分15秒
2 地点：	北緯34度35分01秒	東経135度20分46秒
3 地点：	北緯34度32分40秒	東経135度20分40秒
4 地点：	北緯34度32分21秒	東経135度20分47秒
5 地点：	北緯34度31分31秒	東経135度21分14秒
6 地点：	北緯34度30分59秒	東経135度22分00秒
7 地点：	北緯34度31分55秒	東経135度22分42秒
8 地点：	北緯34度31分49秒	東経135度22分50秒
9 地点：	北緯34度31分08秒	東経135度23分04秒
10 地点：	北緯34度31分57秒	東経135度23分41秒
11 地点：	北緯34度32分11秒	東経135度23分57秒
12 地点：	北緯34度33分16秒	東経135度24分34秒
13 地点：	北緯34度33分39秒	東経135度24分38秒

錨泊自肅海域図



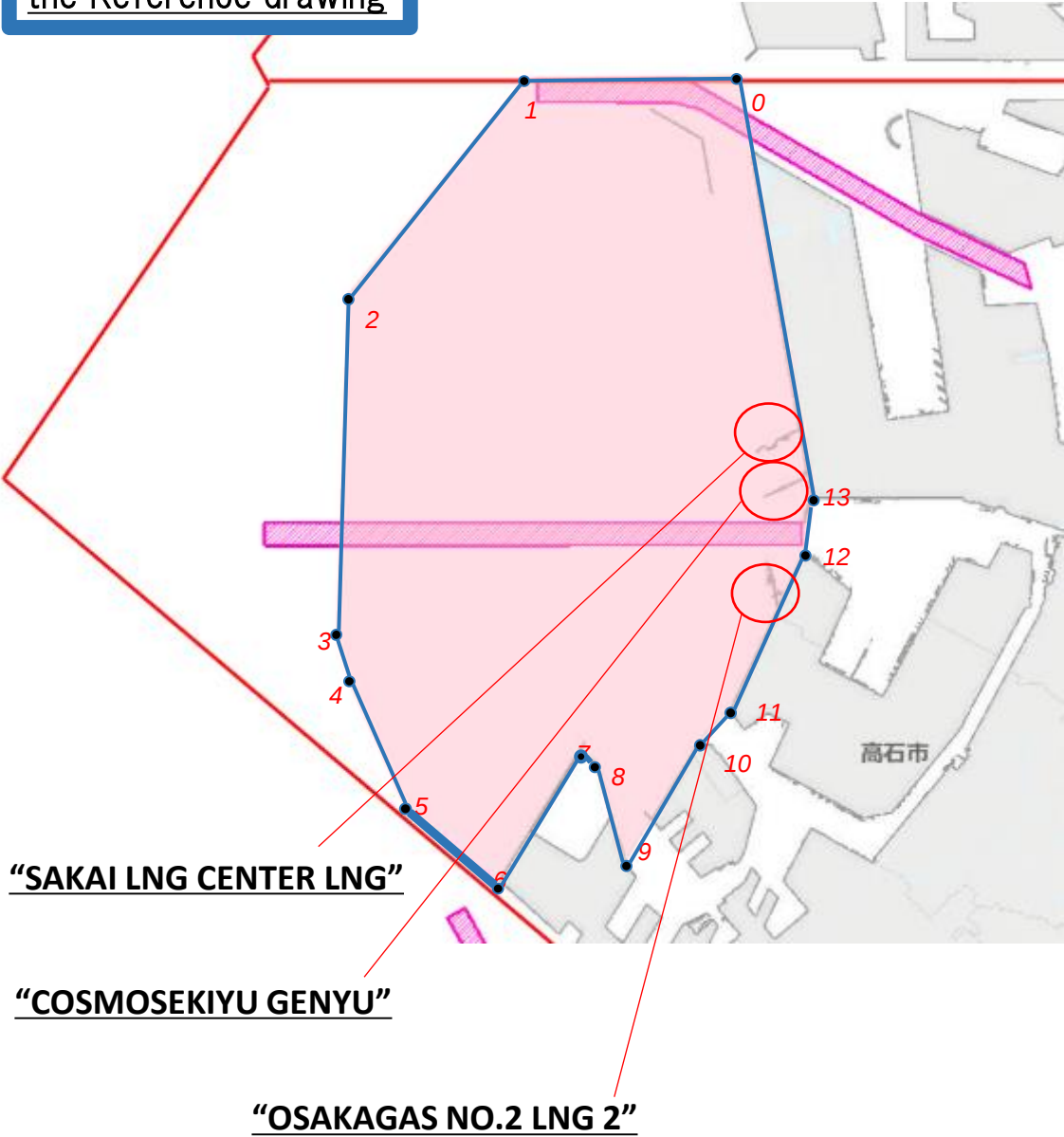
関西電力(株)堺LNGセンター棧橋

コスモ石油(株)堺製油所原油棧橋

大阪ガス(株)泉北製造所
第二工場LNG第2棧橋

0	: N34—36—31	E 135—24—01
1	: N34—36—30	E 135—22—15
2	: N34—35—01	E 135—20—46
3	: N34—32—40	E 135—20—40
4	: N34—32—21	E 135—20—47
5	: N34—31—31	E 135—21—14
6	: N34—30—59	E 135—22—00
7	: N34—31—55	E 135—22—42
8	: N34—31—49	E 135—22—50
9	: N34—31—08	E 135—23—04
10	: N34—31—57	E 135—23—41
11	: N34—32—11	E 135—23—57
12	: N34—33—16	E 135—24—34
13	: N34—33—39	E 135—24—38

the Reference drawing



大阪港海難防止対策委員会
情報第__号
令和__年__月__日（__曜日）__時__分発表

令和__年__月__日

関係機関 各位

阪神港長
阪南港長

台風__号大阪湾接近に伴う「第一体制（避難準備勧告）」について

台風__号が大阪湾に接近するおそれがあります。

港則法第39条第4項に基づき、__日__時__分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第一体制（避難準備勧告）」による措置を執るよう勧告する。

港長の勧告区分	台風の状況	船舶の措置内容
第一体制 (避難準備勧告)	台風が大阪湾に接近するおそれがあると判断された場合	1 気象情報を収集し、台風の動向に留意すること。 2 乗組員を招集して荒天準備となし、機関の準備等、必要に応じ運航できる体制とすること。 3 関係先との連絡手段を確保しておくこと。 4 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No,___.

Released at ____ : ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

**“Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate)”Associated with Typhoon No. (name)
approaching Osaka Bay.**

Due to Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are advised to take the appropriate measures related to the“Phase1(Recommendation for preparing to evacuate)”, from the time of ____:____^T,____^D of____^M,____^Y, JST.

Stage of Measures	State of Typhoon	Details of measures
Phase 1 (Recommendation for preparing to evacuate)	If there is a possibility of the typhoon approach to Osaka Bay.	1 Pay attention for the weather information and the movement of typhoon 2 Stand by crew on board and stand by engine in order to taking necessary actions against rough weather and sea. 3 Ensure communications means with related parties. 4 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.

*Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第__号
令和__年__月__日（__曜日）_時_分発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

発達した低気圧の影響による「第一体制（避難準備勧告）」について

発達した低気圧の影響を受け、大阪湾周辺海域が荒天となる恐れがあります。

港則法第39条第4項に基づき、__日 __時 __分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第一体制（避難準備勧告）」による措置を執るよう勧告する。

なお、大阪府内（大阪市及び泉州）に発表されている「暴風警報」が解除された時刻をもって「第一体制（避難準備勧告）」を解除する。

港長の勧告区分	船舶の措置内容
第一体制 (避難準備勧告)	1 気象情報を収集し、低気圧の動向に留意すること。 2 乗組員を招集して荒天準備となし、機関の準備等、必要に応じ運航できる体制とすること。 3 関係先との連絡手段を確保しておくこと。 4 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL：06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No.,
Released at ___^T, ___^D, ___^M, ___^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate)”Associated with The low pressure which developed approaching Osaka Bay.

It may happen the stormy weather under the influence of the low pressure developed rapidly on Osaka bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are advised to take the appropriate measures related to the“Phase1(Recommendation for preparing to evacuate)”, from the time of ___^T, ___^D of ___^M, ___^Y, JST.

And,if it is canceled Storm Warning has been issued for Osaka area (Osaka-si/senshu) , Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate) decides to be canceled.

Stage of Measures	Details of measures
Phase 1 (Recommendation for preparing to evacuate)	1 Pay attention for the weather information and the movement of the low pressure 2 Stand by crew on board and stand by engine in order to taking necessary actions against rough weather and sea. 3 Ensure communications means with related parties. 4 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.

*Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

台風____号大阪湾接近に伴う「第二体制(大型船等避難勧告)」について

台風____号が大阪湾に接近しています。

港則法第39条第4項に基づき、__日__時__分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第二体制(大型船等避難勧告)」による措置を執るよう勧告する。

港長の勧告区分	台風の状況	船舶の措置内容
第二体制 (大型船等避難勧告)	阪神港(大阪区、堺泉北区)及び阪南港が台風の暴風域に入るおそれがあると判断された場合	1 次の船舶は、原則として港外に避難すること。 (1) 大阪区では、1万総トン以上のばら積危険物積載船舶及びJ岸壁に係留している船舶。 (2) 堺泉北区では、3万総トン以上の船舶。 2 工事作業船等は、作業等を中止し安全な場所に避難すること。 3 小型船舶は、避泊場所を選定し、時機を失することがないように避泊を開始すること。 4 1,000総トン以上の大型船舶(フェリー等を除く。)は、原則として入港を見合わせること。 5 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL：06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase 2(Recommendation for large vessels to evacuate)”Associated with Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Due to Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are advised to take the appropriate measures related to the“Phase2(Recommendation for large vessels to evacuate)”, from the time of ____ T, ____ D of ____ M, ____ Y, JST.

Stage of Measures	State of Typhoon	Details of measures
Phase 2 (Recommendation for large vessels to evacuate)	If the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are expected to be covered by the storm zone of the typhoon	1 The following vessels should, in principle, evacuate from the port (1) In Osaka area, vessels(gross tonnage of 10,000 tons or more) with dangerous cargo in bulk and vessels moored at J wharf. (2) In Sakai Senboku area, vessels(gross tonnage of 30,000 tons or more.) 2 Vessels engaged in construction works should stop works and move to a safe place. 3 Small vessels should anchor at appropriate anchorage or moorage without delay. 4 Large vessels(gross tonnage of 1,000 tons or more)excluding ferry should evacuate from the port, in principle. 5 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.

*Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39, Clause 4.

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

台風____号大阪湾接近に伴う「第二体制（全船舶避難勧告）」について

台風____号が大阪湾に接近しています。

港則法第39条第4項に基づき、__日__時__分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第二体制（全船舶避難勧告）」による措置を執るよう勧告する。

港長の勧告区分	台風の状況	船舶の措置内容
第二体制 (全船舶避難勧告)	阪神港（大阪区、堺泉北区）及び阪南港が台風の暴風域に入るおそれが必至と判断された場合、あるいは両港が重大な影響を受けると判断された場合	1 1,000 総トン以上の大型船舶は、原則として港外に避難し、保船等万全の措置をとること。 2 小型船舶は、河川、運河等の安全な場所に避難し、厳重な警戒措置をとること。 3 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 (1) 国際 VHF（CH16）を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 (2) 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 (3) AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL：06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase 2(Recommendation for all vessels to evacuate)”Associated with Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Due to Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are advised to take the appropriate measures related to the“Phase2(Recommendation for all vessels to evacuate)”, from the time of ____^T, ____^D of ____^M, ____^Y, JST.

Stage of Measures	State of Typhoon	Details of measures
Phase 2 (Recommendation for all vessels to evacuate)	If the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan will surely be covered by the storm zone of the typhoon or expected serious influence	1 Large vessels(gross tonnage of 1,000 tons or more) should evacuate from the port, in principle. 2 Small vessels should move into the rivers or canals wherever safe and keep strict watch. 3 The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. (1) Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. (2) Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. (3) Maintain AIS in operation at all times.

*Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

台風__号大阪湾接近に伴う「第二体制（錨泊自肅勧告）」について

台風__号が大阪湾に接近しています。

港則法第39条第4項に基づき、__日__時__分をもって阪神港堺泉北区に在港している船舶は「第二体制（錨泊自肅勧告）」による措置を執るよう勧告する。

港長の勧告区分	台風の状況	船舶の措置内容
第二体制 (錨泊自肅勧告)	阪神港堺泉北区において、 暴風又は暴風雪に関する 気象警報が発表されるよ うな現象発生があると判 断される場合	100 総トン以上の船舶は、原則として堺泉北港栈橋から 3 海里以内の海域（「錨泊自肅海域図」参照）での錨泊は 避けること。 堺泉北港栈橋 ・コスモ石油(株)堺製油所原油栈橋 ・大阪ガス(株)泉北製造所第二工場 LNG 第2 栈橋 ・関西電力(株)堺 LNG センター栈橋

※港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

なお、第一体制／第二体制は継続中です。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL：06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase 2(Recommendation to avoid anchoring)”Associated with Typhoon No. (name) approaching Osaka Bay.

Due to Typhoon No.●●(name●●) approaching Osaka Bay.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the Hanshin Sakai-Senboku ports are advised to take the appropriate measures related to the“Phase2(Recommendation to avoid anchoring)”, from the time of ^T, ^D of ^M, ^Y, JST.

Stage of Measures	State of Typhoon	Details of measures
Phase 2 (Recommendation to avoid anchoring)	If the weather phenomenon could potentially arise, such as windstorm or snowstorm related weather warning announcement in the port of Sakai-Senboku area.	In principal, for vessels(gross tonnage of 100 tons or more), should not anchor at the area within 3 miles from the port of Sakai-Senboku Piers. (Refer to the reference drawing) The port of Sakai-Senboku Piers are as follows: ▪ “COSMOSEKIYU GENYU” ▪ “OSAKAGAS NO.2 LNG 2” ▪ “SAKAI LNG CENTER LNG”

*Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan.

Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

(※Phase1／Phase2 has still continued.)

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

台風____号における勧告の解除について

____月____日____時____分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に勧告していた
「____体制」を解除します。

問合せ先 大阪海上保安監部航行安全課 TEL: 06-6571-0223
--

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, ____.

Released at ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

Cancel recommendation (s)“the stage of ____“ for the Typhoon No. ____ (name ____)

To “the stage of ____“ for the Typhoon No. ____ (name ____) that recommended for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan, ____ (hour) : ____ (minute) on (month) ____ (day) ____ is (are) cancelled.

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

台風____号における第二体制（錨泊自粛勧告）の解除について

____月____日____時____分をもって阪神港堺泉北区に勧告していた「第二体制（錨泊自粛勧告）」を解除します。

なお、第一体制／第二体制は継続中です。

問合せ先 大阪海上保安監部航行安全課 TEL: 06-6571-0223
--

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, ____.

Released at ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

**Cancel recommendation “Phase 2(Recommendation to avoid anchoring)”Associated with Typhoon No. (name)
approaching Osaka Bay.**

**The Recommendation to avoid anchoring for the Typhoon No. ____ (name) will be canceled at ____ (hour) :
(minute) on (month) ____ (day) ____.**

However, Phase1 / Phase2 has still continued.

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

大阪港海難防止対策委員会
情報第 号
令和__年__月__日（__曜日）__時__発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

発達する低気圧の影響による勧告の解除について

__月__日__時__分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に勧告していた
「第一体制（避難準備勧告）」を解除します。

問合せ先 大阪海上保安監部航行安全課 TEL: 06-6571-0223
--

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, __.

Released at ____^T, ____^D, ____^M, ____^Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

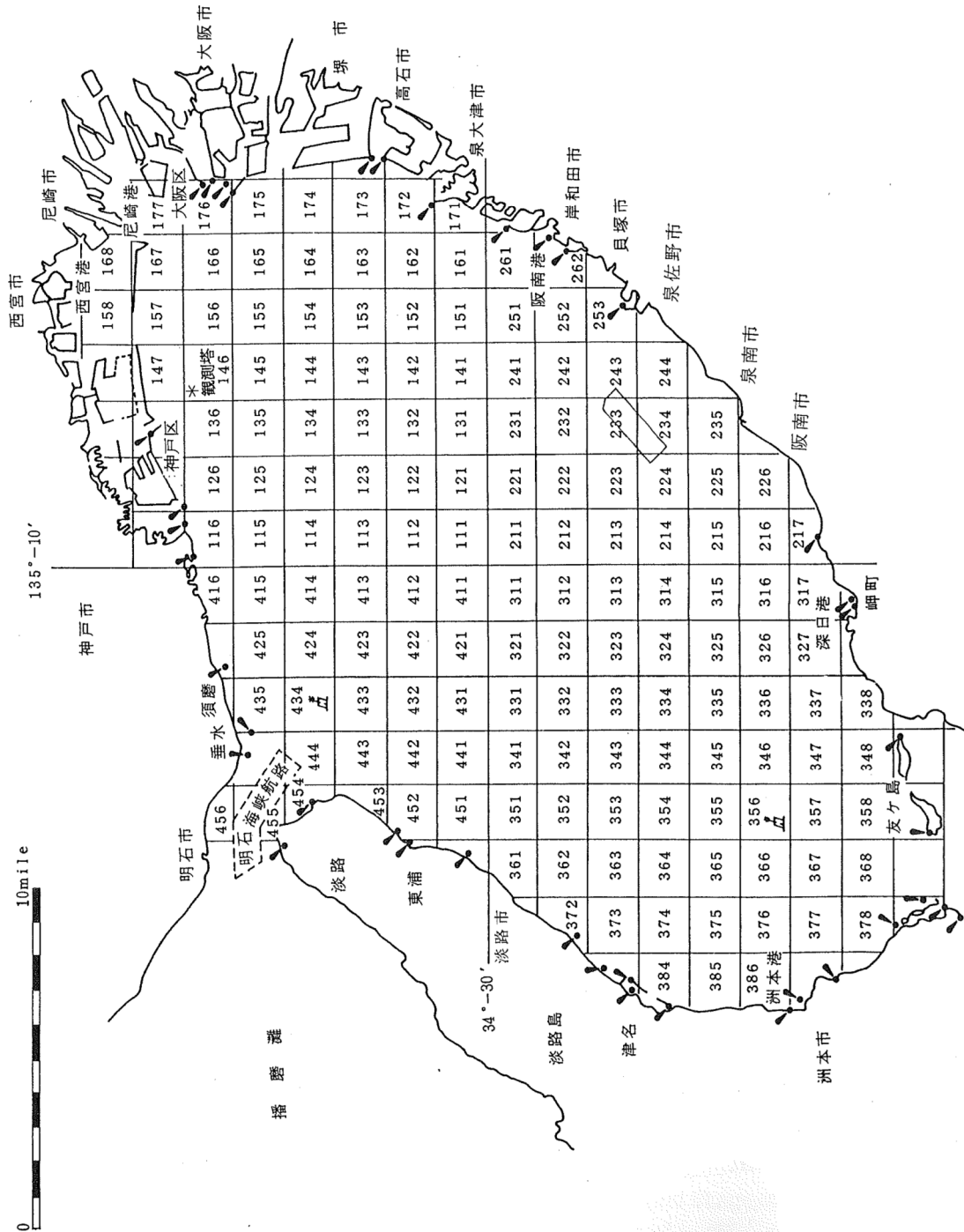
Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

Cancel recommendation “Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate)”Associated with The low pressure which develops rapidly approaching Osaka Bay.

To “Phase 1(Recommendation for preparing to evacuate)”Associated with The low pressure which develops rapidly approaching Osaka Bay that recommended for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan , ____ (hour) : ____ (minute) on (month) ____ (day) ____ is cancelled.

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

＜大阪湾メッシュチャート＞



MEMO

表Ⅰ
No.1

●は、メール配信希望

1			2			3
名称	大阪管区气象台		名称	大阪市水上消防署	名称	
MAIL			MAIL		MAIL	
FAX			FAX		FAX	
TEL		1	TEL		TEL	
夜間・緊急 担当者			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者	
	↓	名称	泉州警備派出所	名称	[警備艇] (口頭)	
		MAIL		MAIL		
		2	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
名称	大阪港海難防止対策委員会					
	[大阪海上保安監部]					
	[气象台派遣 防災気象官]					
	↑	名称	大阪水上警察署	名称	(口頭)	
		MAIL		MAIL		
		3	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
名称	阪神港長・阪南港長			名称	[警備艇] (口頭)	
MAIL				MAIL		
FAX				FAX		
TEL				TEL		
夜間・緊急 担当者				夜間・緊急 担当者		
		名称	岸和田海上保安署	名称	あやめ (口頭)	
		MAIL		MAIL		
		4	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
		名称	大阪海上保安監部	名称	大阪湾海上交通センター(無線)	
		MAIL		MAIL		
		5	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
				名称	かつらぎ、てるぎく、よどぎく、みおかぜ、こまかぜ	
				MAIL		
				FAX		
				TEL		
				夜間・緊急 担当者		
		名称	堺海上保安署	名称	みのお、しぎかぜ	
		MAIL		MAIL		
		6	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
		名称	大阪港湾局 海務課	名称	つるはま[旗りゆう信号、サイレン、口頭]	
		MAIL		MAIL		
		7	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
		名称	大阪港湾局 泉州港湾・海岸部	名称	堺泉北建設管理課[警備艇又は自動車](口頭)	
		MAIL		MAIL		
		8	FAX	FAX		
		TEL		TEL		
		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		

河川在泊船舶

港内在泊船舶

1

2

河川・港内在泊船舶

表Ⅱ
No.1

1			2			3		
●は、メール配信希望								
名称	大阪管区気象台		名称	大阪水上警察署	名称	泉州警備派出所		
MAIL			MAIL		MAIL			
FAX			FAX		FAX			
TEL		1	TEL		TEL			
夜間・緊急 担当者			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
	↓		名称	岸和田海上保安署				
			MAIL					
		2	FAX		別表12			
			TEL					
			夜間・緊急 担当者					
名称	大阪港海難防止対策委員会 [大阪海上保安監部] [気象台派遣官]		名称	大阪海上保安監部	名称	大阪湾水先区水先人会		
MAIL			MAIL		MAIL	●		
FAX		3	FAX		FAX			
TEL			TEL		TEL			
夜間・緊急 担当者			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
	↑				名称	築友会		
					MAIL	●		
					FAX		別表1	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
名称	阪神港長・阪南港長				名称	大阪船主会		
MAIL					MAIL	●		
FAX					FAX		別表2	
TEL					TEL			
夜間・緊急 担当者					夜間・緊急 担当者			
					名称	木津川運河自治会(タイヨウ汽船)		
					MAIL	●		
					FAX		別表3	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	大阪給油船協会(大佑海運(株))		
					MAIL			
					FAX		別表4	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	三昭		
					MAIL	●		
					FAX		別表4	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	日本押船土運船協会(寄神建設(株))		
					MAIL	●		
					FAX		別表5	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	大阪フェリー連絡会代表		
					MAIL	●		
					FAX		別表6	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	堺海上保安署		
					MAIL			
					FAX		別表14	
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
			名称	大阪港湾局 海務課	名称	港区役所(まちづくり推進課)		
			MAIL		MAIL			
		4	FAX		FAX			
			TEL		TEL			
			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
					名称	建設局 河川・渡船管理事務所		
					MAIL	●		
					FAX			
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			

表Ⅱ
No.2

1	2	3	4
	名称	大阪湾広域臨海環境整備センター	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	阪神高速道路(株)建設事業本部大阪建設部淀川左岸線建設事務所	
	MAIL		
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急	淀川左岸線建設事務所長	
	担当者		
	名称	阪神国際港湾(株)	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	日本沿岸曳船海運組合	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪台船係留管理組合	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪タブセンター	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪港運協会	
	MAIL	●	
	FAX		別表7
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪海運組合	
	MAIL	●	
	FAX		別表8
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	全国内航タンカー海運組合	
	MAIL	●	
	FAX		別表9
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪港輸入木材協議会	
	MAIL	●	
	FAX		別表10
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪筏協会	
	MAIL	●	
	FAX		別表10
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		
	名称	大阪埠頭会大阪支部(櫻島埠頭)	
	MAIL	●	
	FAX		別表10
	TEL		
	夜間・緊急		
	担当者		

1

2

3

4

40

●は、メール配信希望							
1		2		3		4	
名称	築友会	名称	商船港運(株)大阪事業部				
MAIL	●	MAIL	●				
FAX		FAX					
TEL		TEL					
夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者					
		名称	(株)日新				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	上組大阪支店上海業務課				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	郵船港運				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	三井倉庫港運(株)大阪支店				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	日東物流(株)大阪港湾ターミナルグループ				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	(株)MOL JAPAN大阪築港事務所				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	大和運輸(株)				
		MAIL					
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	インチケーブシッピングサービス(株)				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	(株)辰巳商会港運部港運事業所代理店課				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	三菱倉庫(株)大阪支店				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	洪澤倉庫(株)大阪港営業所				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					
		名称	山九(株)大阪支店				
		MAIL	●				
		FAX					
		TEL					
		夜間・緊急 担当者					

	1	2	3	4
		名称 鴻池運輸(株)大阪港支店港運部		
14		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 近畿港運(株)		
15		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 間口運輸(株)		
16		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 港通船運輸(株)		
17		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 住友倉庫大阪店		
18		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 (株)岡田商会		
19		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 丸新港運(株)		
20		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 藤原運輸(株)大阪支店		
21		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 日本通運(株)大阪国際輸送支店		
22		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 大阪埠頭ターミナル(株)		
23		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 島本海運(株)		
24		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		

1

2

3

4

1

別表4

2

●は、メール配信希望		1	2	3	4
1	名称	日本押船土運船協会(寄神建設(株)内)	名称	寄神建設	
	MAIL	●	MAIL	●	
	FAX		FAX		
	TEL		TEL		
	夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		
2			名称	青木マリーン(株)本社	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
3			名称	関門港湾建設(阪神支店)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
4			名称	大新土木(阪神営業所)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
5			名称	セイホ工業(土木管理室)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
6			名称	東亜建設工業(大阪支店)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
7			名称	東洋建設(大阪本店)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
8			名称	(株)OSW	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
9			名称	日本海洋資源開発(岸和田支店)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
10			名称	トマック(大阪支店工事部)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
11			名称	日下部建設	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		
12			名称	海洋開発工業(本社)	
			MAIL	●	
			FAX		
			TEL		
			夜間・緊急 担当者		

別表6

●は、メール配信希望

●は、メール配信希望

●は、メール配信希望

1

●は、メール配信希望

岸和田海上保安署
FAX 072-437-0444
TEL 072-422-3592

別表12

[illegible]

	1	2	3	4
	名称 新洋海運	名称 別表13-A		
1	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
	名称 大阪府タグ事業協同組合	名称 組合加入八社		
2	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
		名称 所屬曳船		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
	名称 ENEOS(株)大阪事業所	名称 別表13-B		
3	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
	名称 大阪湾広域臨海環境整備センター大阪建設事務所			
4	MAIL ●			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
	名称 高石市総務部危機管理課	名称 高石市漁業協同組合		
5	MAIL ●	MAIL ●		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
	名称 東洋建設(株)大阪本店大浜作業所	名称 別表13-C		
6	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
	名称 一般社団法人大阪府清港会			
7	MAIL ●			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
	名称 大阪府港湾局堺泉北港湾事務所			
8	MAIL			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
	名称 大阪府港湾局阪南港湾事務所			
9	MAIL ●			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
	名称 泉大津市総合政策部地域経済課	名称 別表13-D		
10	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
	名称 堺泉北埠頭(株)			
11	MAIL			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			

大阪(府)港湾局
FAX 0725-21-7265
TEL 0725-21-7217

別表13
No.2

1		2		3		4	
名称	大王海運(株)大阪営業所	名称	大阪運輸(株)				
MAIL	●	MAIL	●				
FAX		FAX					
TEL		TEL					
夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者					

12

	1	2	3	4
	名称 新洋海運	名称 朝日海運	名称 日本通運堺支店倉庫営業課	
1	MAIL ●	MAIL	MAIL ●	
	FAX	FAX	FAX	
	TEL	TEL	TEL	
	夜間・緊急	夜間・緊急	夜間・緊急	
	担当者	担当者	担当者	
			名称 大運堺営業所	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
2		名称 太平洋セメント堺サービスステーション	名称 (株)シントー	
	MAIL ●	MAIL	MAIL	
	FAX	FAX	FAX	
	TEL	TEL	TEL	
	夜間・緊急	夜間・緊急	夜間・緊急	
	担当者	担当者	担当者	
			名称 ケイミュー(株)堺工場	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 日本ノボパン工業株	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 辰巳商会堺営業所	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
3		名称 セントラル硝子(株)松坂工場堺製造所		
	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
4		名称 (株)スミサク	名称 (株)西井商店堺臨海生コン	
	MAIL ●	MAIL	MAIL	
	FAX	FAX	FAX	
	TEL	TEL	TEL	
	夜間・緊急	夜間・緊急	夜間・緊急	
	担当者	担当者	担当者	
			名称 住友大阪セメント堺サービスステーション	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 IHIインフラシステム(株)	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
5		名称 大木組		
	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		

	1	2	3	4
	名称 日鉄住金建材(株)	名称 (株)メタルワン特殊鋼		
1	MAIL ●	MAIL ●		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
		名称 高石ケミカル		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
2	名称 鴻池運輸泉北営業所	名称 豊国石油		
	MAIL ●	MAIL ●		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
		名称 双和運輸倉庫(株)堺泉北事業所		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 栄運輸工業泉北工場		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
3	名称 島津商事(株)高石営業所			
	MAIL ●			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
4	名称 ENEOS(株)大阪事業所			
	MAIL ●			
	FAX			
	TEL			
	夜間・緊急			
	担当者			
5	名称 要薬品(堺臨海工場)	名称 全国農業協同組合連合会大阪府本部高石配送センター		
	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
		名称 オーエム工業(株)		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 ミリオン化学(株)泉北工場		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
		名称 飯坂製粉高石埠頭サイロ		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
6	名称 麻生セメント株式会社大阪サービスステーション	名称 大阪アサノコンクリート(株)		
	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		

大阪(府)港湾局
FAX 0725-21-7265
TEL 0725-21-7217

別表13-B
No.2

1	2	3	4
	名称	太陽エコプロックス株式会社泉北工場	
	MAIL	●	
	FAX		
	TEL		
	夜間・緊急 担当者		

別表13
—D—

1	名称	泉大津市総合政策部地域経済課	名称	(株)KOC	名称	(株)ガスケミカル物流西日本		
	MAIL	●	MAIL	●	MAIL	●		
	FAX		FAX		FAX			
	TEL		TEL		TEL			
2	夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
			名称	中谷運輸(株)	名称	第一警備保障(株)		
			MAIL	●	MAIL			
			FAX		FAX			
3			TEL		TEL			
			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
					名称	(株)上組		
					MAIL	●		
4					FAX			
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
					名称	山九(株)		
5					MAIL	●		
					FAX			
					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
6			名称	南大阪埠頭(株)	名称	日本トランスシティ(株)		
			MAIL		MAIL			
			FAX		FAX			
			TEL		TEL			
7			夜間・緊急 担当者		夜間・緊急 担当者			
					名称	藤原運輸(株)		
					MAIL			
					FAX			
8					TEL			
					夜間・緊急 担当者			
			名称	泉大津漁業協同組合				
			MAIL					
9			FAX					
			TEL					
			夜間・緊急 担当者					
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

	1	2	3	4
	名称 日本製鉄(株)関西製鉄所	名称 日鉄住金物流(株)関西支店営業部堺事業所	名称 朽木協鉄輸送(株)堺支店	
1	MAIL	MAIL ●	MAIL ●	
	FAX	FAX	FAX	
	TEL	TEL	TEL	
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	
			名称 NSユナイテッド内航海運(株)大阪営業所	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
		名称 山九(株)和歌山支店	名称 (株)さくらコーポレーション	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	
	名称 日立造船(株)堺工場	名称 別表14-a		
2	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
	名称 所属船艇	名称 在泊船舶		
3	MAIL	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
	名称 コスモ石油(株)堺製油所防災センター	名称 別表14-b		
4	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
		名称 在泊船舶		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		
	名称 ENEOS(株)堺製油所防災センター	名称 別表14-c		
5	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
		名称 在泊船舶		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		
	名称 堺市港湾事務所	名称 堺市漁業協同組合		
6	MAIL ●	MAIL ●		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
		名称 堺市浜寺漁業協同組合		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		
		名称 堺市出島漁業協同組合		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		
		名称 堺市沿岸漁業協同組合		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		

7

	1	2	3	4
	名称 日立造船(株)堺工場	名称 堺化学工業(株)	名称 ステラケミファ(株)三宝工場	
1	MAIL ●	MAIL	MAIL	
	FAX	FAX	FAX	
	TEL	TEL	TEL	
	夜間・緊急	夜間・緊急	夜間・緊急	
	担当者	担当者	担当者	
			名称 新関西製鉄(株)	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
2		名称 (株)オーナミ堺事業所		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
3		名称 JFE物流株式会社	名称 KHネオケム(株)	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急	夜間・緊急	
		担当者	担当者	
			名称 マツダ運輸大阪	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 日鉄住金神鋼シャーリング(株)堺シャーリング工場	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
4		名称 関西電力(株)堺LNGセンター	名称 リグナイト(株)堺工場	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急	夜間・緊急	
		担当者	担当者	
			名称 丸一鋼管(株)	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 関西宇部堺工場	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 (株)栗本鉄工所堺工場	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
			名称 関西電力(株)堺港発電所	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
5		名称 日新製鋼(株)堺製造所	名称 (株)信貴造船所	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急	夜間・緊急	
		担当者	担当者	

6

	1	2	3	4
	名称 コスモ石油(株)堺製油所	名称 丸本海洋		
1	MAIL ●	MAIL		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者		
2		名称 日本オーピーヨット(株)	名称 大吉マリーナ	
		MAIL ●	MAIL	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	
			名称 ロイヤル石津ヨットクラブ	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
3		名称 宇部興産(株)堺工場	名称 宇部物流サービス(株)	
		MAIL	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	
			名称 ライオン(株)大阪工場	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
			名称 内外輸送(株)大阪支店	
			MAIL	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
			名称 (株)横河ブリッジ大阪支店	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
			名称 宇部三菱セメント堺サービスステーション	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急 担当者	
4		名称 岩谷液化ガスターミナル(株)堺事業所	名称 (株)辰巳商会堺ケミカルターミナル	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急 担当者	夜間・緊急 担当者	
5		名称 浅川組運輸(株)堺支店		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		
6		名称 日本酢ビ・ポパール(株)		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急 担当者		

	1	2	3	4
	名称 JXTGエネルギー(株)堺製油所防災センター	名称 阪九フェリー(株)		
1	MAIL ●	MAIL ●		
	FAX	FAX		
	TEL	TEL		
	夜間・緊急	夜間・緊急		
	担当者	担当者		
2		名称 高石マリーナ		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
3		名称 新浜寺マリーナ		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
4		名称 浜寺ヨットクラブ		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
5		名称 三井化学(株)大阪工場安全・環境部	名称 DIC(株)	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急 防災センター	夜間・緊急	
		担当者	担当者	
			名称 泉北港サービス(株)	
			MAIL ●	
			FAX	
			TEL	
			夜間・緊急	
			担当者	
6		名称 イシバシマリン	名称 泉大津ヨットクラブ	
		MAIL ●	MAIL ●	
		FAX	FAX	
		TEL	TEL	
		夜間・緊急	夜間・緊急	
		担当者	担当者	
8		名称 内海 SHIPPING (株)		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
9		名称 DGPS (株)泉北製造所第一工場		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
10		名称 DGPS (株)泉北製造所第二工場		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
11		名称 インチケープ SHIPPING		
		MAIL ●		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		
12		名称 SOKK		
		MAIL		
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		

	1	2	3	4
13		名称	丸紅エネックス(株)堺ターミナル	
		MAIL	●	
		FAX		
		TEL		
		夜間・緊急		
		担当者		

大阪港海難防止対策委員会設置要綱

(設 置)

第1条 阪神港（大阪区、堺泉北区）及び阪南港における台風及び発達した低気圧（以下「台風等」という。）並びに津波による船舶等の災害を防止し、もって港内の安全確保に寄与するため大阪港海難防止対策委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所 掌 事 務)

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため次の各号に掲げる事項について検討し、必要な措置を協議する。

- (1) 台風等及び津波による影響の予測に関すること
- (2) 台風等の襲来が予測される場合の入出港船及び在港船の動静に関すること
- (3) 台風等災害防止に必要な措置に関すること
- (4) 津波災害防止に必要な措置に関すること
- (5) その他委員会の目的の達成に必要な事項に関すること

(決定事項の処理)

第3条 委員会は、決定した事項を阪神港長及び阪南港長（以下「港長」という。）に具申する。

2. 委員会は港長が前項の具申に基づいて発する勧告を関係官公庁及び関係団体等に速やかに通報し、その実施を推進する。

(委 員)

第4条 委員会の委員は、大阪港海難防止対策委員会委員名簿のとおりとする。

(委 員 長 等)

第5条 委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、委員が互選した者をもってあてる。

2. 委員長は議事その他の会務を統轄する。

3. 副委員長は、委員長に事故があったときその職務を代行する。

(委員会の招集)

第6条 委員長は必要と認めるとき委員会を招集する。

(小 委 員 会)

第7条 委員長は緊急の必要があると認めるとき、委員会に代えて若干名の委員で組織する小委員会を招集することができる。

2. 小委員会の決定事項は、委員会の決定事項とみなす。

3. 小委員会の決定事項は、速やかに各委員に通知する。

(津波対策分科会)

第8条 各港における津波対策の策定と円滑な実施を図るため委員会の下に津波分科会を次のとおり設置する。なお、分科会委員の人选は大阪港海難防止対策委員会の委員を中心に委員会において選出する。

(1) 大阪府津波対策分科会

(2) 大阪市津波対策分科会

2. 分科会の決定事項は、委員会の決定事項とみなす。

3. 分科会の決定事項は速やかに各委員に通知する。

(庶 務)

第9条 委員会の庶務は、大阪海上保安監部において処理する。

(そ の 他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

1. この要綱は、昭和60年8月8日から施行する。

2. 大阪港海難防止対策委員会設置要項(昭和28年5月13日制定)は廃止する。

3. この要綱施行の際、現に委員ならびに委員長及び副委員長である者は、第4条及び第5条に規定する委員並びに委員長及び副委員長とみなす。

4. 平成17年4月1日 津波対策分科会を設置する。

5. この要綱は、令和2年10月1日から施行する。

6. この要綱は、令和5年6月14日から施行する。

大阪港海難防止対策委員会委員

令和 7 年 7 月 1 4 日現在

委 員 長	大阪港湾局施設管理部長	※
副 委 員 長	(株)商船三井海上安全部部長代理	※
委 員	大阪管区气象台気象防災部長	※
委 員	近畿運輸局海上安全環境部長	
委 員	近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所長	
委 員	大阪税関監視部長	
委 員	大阪湾水先区水先人会副会長	※
委 員	大阪港湾局泉州港湾・海岸部施設管理運営課長	
委 員	大阪府都市整備部事業調整室都市防災課参事	
委 員	大阪水上警察署長	
委 員	大阪市水上消防署長	
委 員	大阪港運協会副会長	
委 員	川崎汽船(株)関西支店副支店長	
委 員	日本郵船(株)関西支店支店長代理	※
委 員	大阪フェリー連絡会代表	※
委 員	堺泉北船舶安全協議会会長	※
委 員	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長	※
事 務 局	大阪海上保安監部	

順不同

※は小委員会委員

阪神港（大阪区、堺泉北区）及び阪南港における船舶津波対応要領

1 目 的

この要領は、津波発生時において、阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港の在港船舶等が迅速かつ的確に対応できるよう船舶の措置要領等を定めることにより、津波による船舶等の被害軽減を図ることを目的とする。

2 津波情報の入手

阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港の在港船舶や入港予定船舶、海事関係者（代理店、船舶運航事業者等）は表 1 の手段などにより平素から津波情報の収集に努める。

（表 1）津波情報収集要領

通報入手手段			周波数、チャンネル等
無線放送	海上保安庁	こうべほあん	国際 VHF CH16/12
		おおさかマーチス	国際 VHF CH16/13、14、66 中短波無線 日本語 1651kHz 英語 2019kHz AIS
		ナブテックス（文字情報）	ナブテックス受信機 F1B 電波 518kHz
	港湾局	おおさかポートラジオ さかいポートラジオ	国際 VHF CH16/11, 12, 18, 19, 20
テレビ放送			NHK 等
ラジオ放送			666kHz 等
インターネット、電子メール			気象庁 HP、第五管区海の安全情報（沿岸域情報提供システム）、エリアメール・緊急速報メール（受信設定の要確認）等

3 船舶の措置要領

(1) 在港船舶

在港船舶は、気象庁から大阪府に津波注意報、津波警報及び大津波警報が発表された場合、津波情報収集に努め、乗組員等の人命に十分留意のうえ、表 2 の気象庁の発表（警報・注意報）に基づく措置内容に従い、それぞれの船舶に応じた措置をとらなければならない。

なお、気象庁から南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表された場合、南海トラフ地震に関連する情報の収集に努め、表 3 の気象庁の発表（南海トラフ地震

臨時情報)に基づく措置内容に従い、それぞれの船舶に応じた措置をとらなければならない。

(表2) 気象庁の発表(警報・注意報)に基づく措置内容

気象庁の発表	船舶の措置内容		港長の勧告 区分
津波注意報	【全船】	津波情報の収集、連絡体制の確保、係留強化等津波対策に留意する。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員(船橋当直・無線当直等)を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。	第一体制 (津波警戒 勧告)

気象庁の発表	船舶の措置内容		港長の 勧告区分
津波警報	【小型船】	陸揚げ固縛、係留強化又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。	第二体制 (津波避難 勧告)
	【小型船以外】	荷役中の船舶は荷役を中止し、係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 航行中又は係留中の船舶は係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶は、機関準備のうえ待機又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員 (船橋当直・無線当直等) を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。	

気象庁の発表	船舶の措置内容		港長の 勧告区分
大津波警報	【小型船】	陸揚げ固縛、係留強化又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。	第二体制 (津波避難 勧告)
	【小型船以外】	荷役中の船舶は荷役を中止し、係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 航行中又は係留中の船舶は係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶は、機関準備のうえ待機又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨海難の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の海上保安庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。	

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長

小 型 船：プレジャーボート、漁船等のうち、港内で陸揚げできる程度の船舶

係留避泊：係留強化、機関の併用等により係留状態のまま津波に対抗する（陸上作業員等の緊急避難場所として乗船させることも考慮する）

勧 告：港則法第 39 条第 4 項に基づく勧告

(表3) 気象庁の発表(南海トラフ地震臨時情報)に基づく措置内容

気象庁の発表	船舶の措置内容		港長の 勧告区分
南海トラフ地震 臨時情報(巨大地震警戒)	【全船】	1 在泊船は避難準備を行い、必要に応じて直ちに出港できるよう準備すること ・南海トラフ地震臨時情報等に係る情報の入手 ・避難に必要な支援体制の確保に係る確認 ・岸壁管理者、荷主企業等の対応の確認 ・避難方法の確認 2 自主的な避難行動をとること ・避難に必要な支援体制を受けれない、岸壁が使用できない、荷役作業ができない等がある場合は、自主的に安全な海域に避難すること	南海トラフ地震警戒強化(勧告)

注1) 表3に定める「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」発出中に、津波注意報・津波警報・大津波警報が発表された場合は表2に定める「第一体制(津波警戒勧告)」又は「第二体制(津波避難勧告)」に切り替える。

注2) 表2に定める「第一体制(津波警戒勧告)」又は「第二体制(津波避難勧告)」が継続中の場合に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されても「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」は発出しない。

注3) 表2に定める「第一体制(津波警戒勧告)」又は「第二体制(津波避難勧告)」が解除された際、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」に伴う「政府としての特別な警戒の呼びかけ」が継続中の場合は表3に定める「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」に切り替える。

(2) 避難場所等

在港船舶は、津波の高さ、津波到達予想時刻等を勘案のうえ、「係留避泊」、「港外退避」等、最善の避難措置をとることとし、港外退避する場合は、可能な限り大阪湾で推奨される、水深が30m以上の海域(以下、「推奨避難海域」と言う。)へ避難する。(末尾添付「大阪湾における推奨される避難海域図」参照)

(3) 入港予定船舶

阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に入港予定の船舶は、気象庁から大阪府に津波警報又は大津波警報が発表された場合は、入港を見合わせるとともに津波到達予想時刻等を勘案のうえ、可能な限り推奨避難海域に避難する。

(4) 避難順序

船舶が港外へ避難する場合、出港準備が整った船舶から順次避難することを原則とするが、出港のタイミングが競合した場合は、二次災害の危険度を考慮し、基本的な避難順序を次のとおり定め、各関係者は可能な限り協力して災害の防止・軽減に努めること。

- ① 危険物を積載している船舶
- ② 旅客搭乗中の旅客船
- ③ 巨大船等の大型船
- ④ その他の船舶

注 1) 被害の最小化（減災）を図るための順位であり、避難に際して優先的に水先人・曳船・網外し作業員を手配できるものではない。

注 2) 大阪海上保安監部、おおさかポータルラジオ等から、避難順序にかかる情報提供等がなされる場合があるので留意する。

4 港長の対応

(1) 避難勧告等

気象庁から大阪府に津波注意報、津波警報又は大津波警報が発表された場合、同時刻をもって、港長から在港船舶に対して、表 2 第一体制（津波警戒勧告）や第二体制（津波避難勧告）の措置をとるよう勧告される。

また、気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合は表 3 の南海トラフ地震警戒強化（勧告）の措置をとるよう勧告される。

なお、気象庁から南海トラフ地震臨時情報（調査中・調査終了）が発表された場合は港長から関係者に対し当該情報が伝達され、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表から後発地震が発生しないまま 1 週間経過した場合（注意措置）及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された場合は港長から関係者に対し注意喚起が発出される。

(2) 避難勧告等の解除

気象庁から、大阪府に発表されていた津波注意報、津波警報又は大津波警報が解除され、港内の安全が確認された場合、表 2 の勧告を解除する。

ただし、港内における航路障害物や係留施設の損傷、水深減少等の状況から、

引き続き港長から航行制限等の措置が講じられる場合がある。

また、表3の勧告の解除は、国からの呼びかけにより警戒措置が解除された場合に解除する。

5 情報伝達

気象庁から、大阪府に津波注意報、津波警報又は大津波警報が発表された場合、または南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、海事関係者は、表1に掲げる手段により情報を入手し、可能な限り在港船舶等へ周知を図るほか、台風情報等連絡系統図により傘下、関係先へ伝達する。

6 津波避難マニュアルの作成及び教育・訓練

船舶運航事業者は、乗組員の避難措置などを明確化したマニュアルを作成のうえ、乗組員に対し必要な教育・訓練を実施する等、防災・減災に努める。

また各船舶は、地震津波発生時直ちに最善の避難措置を執れるよう、これらマニュアルに基づき平素から避難手順の確認・訓練を行う等、避難体制を整えておく。

附 則 この要領は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 この要領は、平成22年7月29日から施行する。

附 則 この要領は、平成23年6月21日から施行する。

附 則 この要領は、平成24年6月15日から施行する。

附 則 この要領は、平成25年6月17日から施行する。

附 則 この要領は、平成27年2月17日から施行する。

附 則 この要領は、平成28年7月29日から施行する。

附 則 この要領は、平成29年6月30日から施行する。

附 則 この要領は、平成30年6月28日から施行する。

附 則 この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 この要領は、令和2年7月30日から施行する。

附 則 この要領は、令和3年7月1日から施行する。

附 則 この要領は、令和6年6月26日から施行する。

附 則 この要領は、令和8年7月15日から施行する。

参考文献

- ① 「2013年度大地震及び大津波来襲時の航行安全対策に関する研究報告書 港内津波対策の手引き」(2014年4月公益社団法人日本海難防止協会)
- ② 「船舶運航事業者における津波避難マニュアルの作成の手引き」(【大阪湾版】平成26年5月国土交通省近畿運輸局)

The measures to be taken against Tsunami for vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

1. Objective

This guideline aims to minimize the wreckage of vessels in time of Tsunami. Measures are hereby stated for vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan to deal with the situation swiftly in proper manners.

2. How to obtain Tsunami information

Vessels at the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan, vessels entering ports and maritime authorized people (their agents and vessel navigation operators) are requested to make their utmost efforts to obtain Tsunami information by means of those below List 1 and the others.

(List 1) The measures for gathering information about Tsunami

Means to obtain weather reports			Frequency, Channel etc.
Radio broadcast	Japan Coast Guard	Kobe Coast Guard Radio	International VHF CH16/12
		Osaka MARTIS	International VHF CH16/CH13,14,66 Japanese 1651kHz English 2019kHz
		NAVTEX (text information)	NAVTEX RECEIVER F1B EMISSION 518 kHz
	Port and Harbor Bureau	Sakai Port Radio, Osaka Port Radio	International VHF CH16/CH11,12,18,19,20
TV broadcast			NHK etc.
Radio broadcast			666kHz etc.
Internet, Email			Japan Meteorological Agency's website , Maritime Information and Communication System, Area Email, Emergency Alert Email (receive settings is needed), etc.

3. Measures to be taken by vessels

(1) Vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

When Japan Meteorological Agency (hereafter referred to as “JMA”) announced for Osaka prefecture about Tsunami Attention or Tsunami Warning or large Tsunami Warning.

Vessels in the port are collect information, giving adequate attention to human life of the crew, according to details of measures about based on List 2 of announced(Warning signal· Attention signal)

by JMA and each of the vessels must take proper measures.

When The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Under Analysis) announced by JMA.

Vessels in the port collect information about The Nankai Trough Earthquake , according to details of measures about List3 of announced(The Nankai Trough Earthquake Extra Information) by JMA .

(List 2) Details of measures about announced(Warning signal· Attention signal) by JMA.

Announced by Japan Meteorological Agency	Details of measures to be taken by vessels		Category of Recommendat ion by Captain of the Port
Tsunami Attention	(All Vessels)	Pay attention to measures against Tsunami by gathering information, securing communication system and reinforcing mooring etc. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF ch16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.	Phase1 (Recommend ation for taking precaution against Tsunami)
Tsunami Warning	(Small Vessels)	Landing and lashing vessels, reinforcing mooring, evacuating the harbor or take the other necessary measures.	Phase2 (Recommend ation to evacuate against Tsunami)
	(Vessels except small Vessels)	Vessels at loading or unloading, stop them and reinforce mooring, evacuate from the port or take the other necessary measures. Vessels under way evacuate from the port, moored vessels evacuate from the port or reinforce mooring, and their vessels take other measures as needed. Vessels at anchor standby for evacuation with standby engine, evacuate from the port or take the other measures as needed. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF ch16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.	
Large Tsunami Warning	(Small Vessels)	Take landing and lashing vessels, reinforcing mooring, evacuating the port or take the other necessary measures.	
	(Vessels except small Vessels)	Vessels at loading or unloading, stop them and reinforce mooring, evacuate from the port or take the other necessary measures. Vessels under way evacuate from the port, moored vessels evacuate from the port or reinforce mooring, and their vessels take other measures as needed. Vessels at anchor standby for evacuation with standby engine, evacuate from the port or take the other measures as needed. The vessels at anchor and intending to anchor note	

		the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF ch16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.	
--	--	--	--

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

Small Vessels : pleasure boats, fishing boats or the others in could be landed

Reinforce mooring: refers to keeping moored against Tsunami by reinforcement of mooring along with engine (Consider evacuating land workers and the like aboard the vessel for emergency shelter)

Recommendation: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

(List 3) Details of measures based on (The Nankai Trough Earthquake Extra Information category by JMA .

Announced by Japan Meteorological Agency	Details of measures to be taken by vessels		Category of Recommendation by Captain of the Port
The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Caution)	【All Vessels】	1 Vessels in the port are prepare for evacuation, and prepared to leave the port as needed. • Note information on Nankai Trough Earthquake announced by the Japan Meteorological Agency. • Confirmation regarding securing of support system necessary for evacuation. • Confirmation of correspondence of quay administrator and cargo handling companies. • Confirmation of evacuation 2 Take voluntary evacuation action. • Evacuate to safe sea area voluntarily when you can't receive necessary support system for evacuation, can't use quay ,can't handle cargo and so on.	Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)

Note 1) During the announcement of 「Special cautions with The Nankai Trough Earthquake」 defined by List 3, Captain of the Port change for Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami) or Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)」 defined by List 2 when announced about Tsunami recommendation or Tsunami Warning or large Tsunami Warning.

Note 2) Captain of the Port do not advise of 「Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)」 even if announced about 「The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Caution)」 when still continued Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami) or Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami) defined by List 2.

Note 3) In the case of cancelled Phase 1 (Recommendation for taking precaution against Tsunami) or

Phase 2 (Recommendation to evacuate against Tsunami) defined by List 2, Captain of the Port shall change to “Special cautions with The Nankai Trough Earthquake (Recommendation)” defined by List 3 when the Government's special call for vigilance associated with “The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert)” remains in effect.

(2) Evacuation area etc.

Vessels in ports have the best way of evacuation such as “reinforce mooring”, “evacuating the port”, take the height and ETA of Tsunami and other factors into consideration.

In case of vessels evacuate from the port, evacuate to the sea area depth 30m or more in the Osaka Bay (hereafter “recommended evacuation sea area”) .(See "Recommended Evacuation Sea Areas in the Osaka Bay" attached at the end of document)

(3) Vessels entering or scheduled to enter the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

Vessels cancel entering to the ports and evacuate to the recommended evacuation sea area as much as possible, take the height, ETA of Tsunami and other factors into consideration.

(4) The sequence of evacuation

Evacuation of vessels to outside the ports should be conducted in principle from vessels that are ready for departure from the port. If the timing of departure is conflicted, the following basic order of evacuation should be followed, taking the risk of secondary disaster into consideration. Each relevant party is requested to prevent and minimize disaster in cooperation with each other as much as possible.

[1] Vessels carrying dangerous cargo

[2] Passenger liners with passengers aboard

[3] Other large vessels and huge vessels on Maritime Traffic Safety Law

[4] Other vessels

Note 1) This is an order intended for minimizing damage (disaster reduction) and does not guarantee that pilots, tug boats, and line-removing operators can be preferentially arranged for evacuation.

Note 2) Pay attention the information about the order of evacuation may be provided by Osaka Coast Guard Office, Osaka Port Radio, etc.

4. Action to be taken by Captain of the Port

(1) Evacuation Recommendation

Captain of the port advises vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan take appropriate measures related to Phase1 (Recommendation for taking precaution against Tsunami) or Phase2 (Recommendation to evacuate against Tsunami) in List 2, concurrently in the case of JMA issues Tsunami Recommendation, Tsunami Warning or Large Tsunami Warning to Osaka prefecture.

When The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Caution)

announced by JMA, Captain of the Port recommended to take measures to special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation) in List3.

In the event that Nankai Trough Earthquake Extra Information (Under Analysis or Analysis Complete) is issued by the Japan Meteorological Agency, the information shall be announced to the relevant parties by the Captain of the Port. One week after the issuance of Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert), without the occurrence of a subsequent earthquake (Precautionary Measures), or when Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Attention) is issued, an alert will be announced to the relevant parties by the Captain of the Port.

(2) Cancellation of evacuation recommendation

Captain of the port cancels advisories of List2, in the case of JMA cancels Tsunami Attention, Tsunami Warning or Large Tsunami, and confirmed the safety inside the ports.

However, captain of the port may continue the measures, such as restriction of navigation and the others, by reason of depending on the situation, such as navigational hazards, damage in the mooring factories, or decrease to depth of water and the others.

Also, the recommendations in List3 will be canceled when the measures of caution are canceled by a call from the nation.

5. Distributing information

The maritime authorized people obtain the Tsunami information via the measure stated on List 1, and inform Vessels in port and distribute the several information to the affiliated or the relevant companies through “communication network for Typhoons and others”, in the case of JMA issues Tsunami Attention, Tsunami Warning or Large Tsunami Warning to Osaka prefecture, also when issues The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Caution) .

6. Draw up Tsunami evacuation manuals, education and training.

Vessel navigation operators are requested to draw up manuals that clarify evacuation measures for vessels and crew, provide necessary education and training for crew, and take other actions to prepare for disaster prevention and minimize disasters.

Vessels are always requested to build the evacuating systems by confirming the evacuation procedures, conducting drills and the others usually, based on these manuals to take the best evacuation measure immediately in case of occurrence of Tsunami or Big earthquake.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of April 1, 2006.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of July 29, 2010.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 21, 2011.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 15, 2012.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 17, 2013.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of February 17, 2015.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of July 29, 2016.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 30, 2017.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 28, 2018.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of April 1, 2020.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of July 30, 2020.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of July 1, 2021.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of June 26, 2024.

Supplementary clause

This guideline becomes effective as of July 15, 2026.

References

- [1] "Investigation and Research Report on Navigation Safety Measures in the Event of a Large Earthquake and Large Tsunami for 2013 : Guidelines for Measures against Tsunami in Harbors" (Apr. 2014, Japan Association of Marine Safety)
- [2] "Guidelines for Preparation of Tsunami Evacuation Manual by Vessel Navigation Operators" ([Osaka Bay version] May 2014, Kinki District Transport Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism)

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

____地震津波注意報発表に伴う「第一体制(津波警戒勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に津波注意報が発表されました。

港則法第39条第4項に基づき、同時刻をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「第一体制(津波警戒勧告)」による措置を執るよう勧告する。

気象庁の警報・注意報区分	港長の勧告区分	船舶の措置内容
津波注意報	第一体制 (津波警戒勧告)	【全船】 津波情報の収集、連絡体制の確保、係留強化等津波対策に留意する。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, ____.

released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)” Associated with ____ Earthquake and Tsunami Advisory Announcement

A Tsunami Advisory was announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture at __ (hour) : __ (minute) on (month) ____ (day) ____.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami).”

Warning Advisory by Meteorological Agency	Category of Advisory by Captain of the Port	Measures to Be Taken by Vessels
Tsunami Advisory	Phase1 (Recommendation for taking precaution against Tsunami)	【All Vessels】 Pay attention to measures against Tsunami by gathering information, securing a communication system, reinforcing mooring, etc. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
 International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

____地震津波警報発表に伴う「第二体制(津波避難勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に津波警報が発表されました。

港則法第39条第4項に基づき、同時刻をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港在港船に対して「第二体制(津波避難勧告)」の措置を執るよう勧告する。入港船舶については、入港を見合わせるとともに津波到達予想時刻等を勘案のうえ、可能な限り推奨避難海域に避難する。

気象庁の警報・注意報区分	港長の勧告区分	船舶の措置内容	
津波警報	第二体制 (津波避難勧告)	【小型船】	陸揚げ固縛、係留強化又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる
		【小型船以外】	荷役中の船舶は荷役を中止し、係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 航行中又は係留中の船舶は係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶は、機関準備のうえ待機又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際VHF（CH16）を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS搭載船舶のAIS常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長

小 型 船：プレジャーボート、漁船等のうち、港内で陸揚げできる程度の船舶

係留避泊：係留強化、機関の併用等により係留状態のまま津波に対抗する（陸上作業員等の緊急避難場所として乗船させることも考慮する）

勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）

- おおさかマーチス

国際VHF無線ch16/13、14、66

により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)” Associated with _____ Earthquake and Tsunami Advisory Announcement

A Tsunami Warning was announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture at ____ (hour) : ____ (minute) on (month) ____ (day) ____.

Based on Article 39, paragraph 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Phase2 (Recommendation to evacuate against Tsunami).”

Vessels entering Hanshin and Hannan ports are advised to cancel entering to the ports and evacuate to the recommended evacuation sea area as much as possible, take the height, ETA of Tsunami and other factors into consideration.

Warning Advisory by Meteorological Agency	Category of Advisory by Captain of the Port	Measures to Be Taken by Vessels	
Tsunami Warning	Phase2 (Recommendation to evacuate against Tsunami)	(Small Vessels)	Landing and lashing vessels, reinforcing mooring, evacuating the harbor or take the other necessary measures.
		(Vessels except small Vessels)	Vessels at loading or unloading, stop them and reinforce mooring, evacuate from the port or take the other necessary measures. Vessels under way evacuate from the port, moored vessels evacuate from the port or reinforce mooring, and their vessels take other measures as needed. Vessels at anchor standby for evacuation with standby engine, evacuate from the port or take the other measures as needed. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

Small Vessels : pleasure boats, fishing boats or the others in could be landed

Reinforce mooring: refers to keeping moored against Tsunami by reinforcement of mooring along with engine (Consider evacuating land workers and the like aboard the ship for emergency shelter)

Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* _____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

____地震大津波警報発表に伴う「第二体制(津波避難勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に大津波警報が発表されました。

港則法第39条第4項に基づき、同時刻をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港在港船に対して「第二体制(津波避難勧告)」の措置を執るよう勧告する。入港船舶については、入港を見合わせるとともに津波到達予想時刻等を勘案のうえ、可能な限り推奨避難海域に避難する。

気象庁の警報・注意報区分	港長の勧告区分	船舶の措置内容	
大津波警報	第二体制 (津波避難勧告)	【小型船】	陸揚げ固縛、係留強化又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる
		【小型船 以外】	荷役中の船舶は荷役を中止し、係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる 航行中又は係留中の船舶は係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶は、機関準備のうえ待機又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長

小 型 船：プレジャーボート、漁船等のうち、港内で陸揚げできる程度の船舶

係留避泊：係留強化、機関の併用等により係留状態のまま津波に対抗する（陸上作業員等の緊急避難場所として乗船させることも考慮する）

勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）

- おおさかマーチス

国際VHF無線 CH16/13、14、66

により提供しています。

問合せ先

大阪海上保安監部航行安全課

TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)” Associated with _____ Earthquake and Large Tsunami Advisory Announcement

A Large Tsunami Warning was announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture at ____ (hour) : ____ (minute) on (month) _____ (day) _____.

Based on Article 39, paragraph 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami).”

Vessels entering Hanshin and Hannan ports are advised to cancel entering to the ports and evacuate to the recommended evacuation sea area as much as possible, take the height, ETA of Tsunami and other factors into consideration.

Warning Advisory by Meteorological Agency	Category of Advisory by Captain of the Port	Measures to Be Taken by Vessels	
Large Tsunami Warning	Phase2 (Recommendation to evacuate against Tsunami)	(Small Vessels)	Take landing and lashing vessels, reinforcing mooring, evacuating the port or take the other necessary measures.
		(Vessels except small Vessels)	Vessels at loading or unloading, stop them and reinforce mooring, evacuate from the port or take the other necessary measures. Vessels under way evacuate from the port, moored vessels evacuate from the port or reinforce mooring, and their vessels take other measures as needed. Vessels at anchor standby for evacuation with standby engine, evacuate from the port or take the other measures as needed. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

Small Vessels : pleasure boats, fishing boats or the others in could be landed

Reinforce mooring: refers to keeping moored against Tsunami by reinforcement of mooring along with engine (Consider evacuating land workers and the like aboard the ship for emergency shelter)

Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* _____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
 International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和____年____月____日（____曜日）____時発表

関係機関 各位

令和____年____月____日

阪神港長
阪南港長

____地震大津波警報から津波警報への切替えに伴う「第二体制(津波避難勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に発表されていた大津波警報は津波警報に切替られました。

港則法第39条第4項に基づき、阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港在港船に対して引続き「第二体制(津波避難勧告)」の措置を執るよう勧告する。入港船舶については、入港を見合わせるとともに津波到達予想時刻等を勘案のうえ、可能な限り推奨避難海域に避難する。

気象庁の警報・注意報区分	港長の勧告区分	船舶の措置内容	
津波警報	第二体制 (津波避難勧告)	【小型船】	陸揚げ固縛、係留強化又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる
		【小型船以外】	荷役中の船舶は荷役を中止し、係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 航行中又は係留中の船舶は係留避泊又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶は、機関準備のうえ待機又は港外退避のほか、必要な措置を講ずる。 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長

小 型 船：プレジャーボート、漁船等のうち、港内で陸揚げできる程度の船舶

係留避泊：係留強化、機関の併用等により係留状態のまま津波に対抗する（陸上作業員等の緊急避難場所として乗船させることも考慮する）

勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス

国際 V H F 無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at _____ T, _____ D, _____ M, _____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phasse2(Recommendation to evacuate against Tsunami)” Associated with a Change from _____ Earthquake and Large Tsunami Warning to Tsunami Warning

The Large Tsunami Warning announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture was changed to a Tsunami Warning at ____ (hour) : ____ (minute) on (month) _____ (day) _____.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to continue to take the appropriate measures related to the “Phasse2(Recommendation to evacuate against Tsunami).” Vessels entering Hanshin and Hannan ports are advised to cancel the entry into the ports and evacuate to a recommended evacuation sea area as much as possible, taking the estimated time of arrival of Tsunami and other factors into consideration.

Warning Advisory by Meteorological Agency	Category of Advisory by Captain of the Port	Measures to Be Taken by Vessels	
Tsunami Warning	Phasse2 (Recommendation to evacuate against Tsunami)	(Small Vessels)	Landing and lashing vessels, reinforcing mooring, evacuating the harbor or take the other necessary measures.
		(Vessels except small Vessels)	Vessels at loading or unloading, stop them and reinforce mooring, evacuate from the port or take the other necessary measures. Vessels under way evacuate from the port, moored vessels evacuate from the port or reinforce mooring, and their vessels take other measures as needed. Vessels at anchor standby for evacuation with standby engine, evacuate from the port or take the other measures as needed. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan

Small Vessels : pleasure boats, fishing boats or the others in could be landed

Reinforce mooring: refers to keeping moored against Tsunami by reinforcement of mooring along with engine (Consider evacuating land workers and the like aboard the ship for emergency shelter)

Advisory: based on ACT on Port Regulations Article39 paragraph 4.

* _____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

____地震津波警報から津波注意報への切替えに伴う「第一体制(津波警戒勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に発表されていた津波警報は津波注意報に切替られました。

阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に発出していた「第二体制(津波避難勧告)」の措置は、同時刻をもって解除する。港則法第39条第4項に基づき「第一体制(津波警戒勧告)」の措置を執るよう勧告する。

気象庁の警報・注意報区分	港長の勧告区分	船舶の措置内容
津波注意報	第一体制 (津波警戒勧告)	【全船】 津波情報の収集、連絡体制の確保、係留強化等津波対策に留意する 錨泊中の船舶又は錨泊を予定している船舶は走錨の防止のため、次の事項に留意すること。 1 国際 VHF (CH16) を常時聴取する等の当庁との連絡手段を確保すること。 2 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置すること。 3 AIS 搭載船舶の AIS 常時作動を確認すること。

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際 V H F 無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)” Associated with a Change from _____ Earthquake and Tsunami Warning to Tsunami Advisory

The Tsunami Warning announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture was changed to a Tsunami Advisory at ____ (hour) : ____ (minute) on (month) ____ (day) ____.

The measures related to the “Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)” issued for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan concurrently cancelled. Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami).”

Warning Advisory by Meteorological Agency	Category of Advisory by Captain of the Port	Measures to Be Taken by Vessels
Tsunami Advisory	Phase1 (Recommendation for taking precaution against Tsunami)	【All Vessels】 Pay attention to measures against Tsunami by gathering information, securing a communication system, reinforcing mooring, etc. The vessels at anchor and intending to anchor note the following matters to prevent dragging anchor. 1 Maintain communication with Japan Coast Guard. For example, maintain a continuous listening watch on VHF CH16. 2 Arrange the officer in charge of the navigational watch on the bridge and the radio watch. 3 Maintain AIS in operation at all times.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

____地震津波注意報解除に伴う「第一体制(津波警戒勧告)」の解除について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に発表されていた津波注意報は解除されました。

____月____日____時____分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に発出していた「第一体制(津波警戒勧告)」を解除します。

※____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66

により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

Cancellation of “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)” Associated with ____ Earthquake and Tsunami Advisory Cancellation

The Tsunami Advisory announced by the Meteorological Agency for Osaka Prefecture was cancelled at ____ (hour) : ____ (minute) on (month) ____ (day) ____.

The “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)” issued for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan ____ (hour): ____ (minute) on (month) ____ (day) ____ is (are) cancelled.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Mobile site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表に伴う
「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されました。

港則法第39条第4項に基づき、同時刻をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」による措置を執るよう勧告する。

気象庁の発表	港長の勧告区分	船舶の措置内容
南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震 警戒強化 (勧告)	【全船】 1 在泊船は避難準備を行い、必要に応じて直ちに出港 できるよう準備すること ・南海トラフ地震臨時情報等に係る情報の入手 ・避難に必要な支援体制の確保に係る確認 ・岸壁管理者、荷主企業等の対応の確認 ・避難方法の確認 2 自主的な避難行動をとること ・避難に必要な支援体制を受けられない、岸壁が使用 できない、荷役作業ができない等がある場合は、自 主的に安全な海域に避難すること

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>（スマートフォンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先 大阪海上保安監部航行安全課 TEL: 06-6571-0223
--

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA POR

Bulletin No, ____.

released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

“Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation) ”
Associated with The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert).

The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert) was announced by the Japan Meteorological Agency for Osaka Prefecture at __ (hour) : __ (minute) on (month) ____ (day) ____.

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation).”

Announced by the Japan Meteorological Agency	Category of Recommendation by Captain of the Port	Details of measures to be taken by vessels
The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert)	Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)	【All Vessels】 1 Vessels in the port are prepare for evacuation, and prepared to leave the port as needed. • Note information on Nankai Trough Earthquake announced by the Japan Meteorological Agency. • Confirmation regarding securing of support system necessary for evacuation. • Confirmation of correspondence of quay administrator and cargo handling companies. • Confirmation of evacuation 2 Take voluntary evacuation action. • Evacuate to safe sea area voluntarily when you can't receive necessary support system for evacuation, can't use quay ,can't handle cargo and so on.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (Smartphone site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Cell phone site)
- Osaka MARTIS
 International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会

情報第____号

令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

大津波警報解除に伴う「第二体制（津波避難勧告）」の解除及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表に伴う「南海トラフ地震警戒強化（勧告）」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に発表されていた大津波警報は解除されました。
____月____日____時____分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に発出していた「第二体制（津波避難勧告）」を解除します。

また、____月____日____時____分、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表されています。

____月____日____時____分をもって、港則法第39条第4項に基づき阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「南海トラフ地震警戒強化（勧告）」による措置を執るよう勧告する。

気象庁の発表	港長の勧告区分	船舶の措置内容
南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震警戒）	南海トラフ地震 警戒強化（勧告）	【全船】 1 在泊船は避難準備を行い、必要に応じて直ちに出港できるよう準備すること ・南海トラフ地震臨時情報等に係る情報の入手 ・避難に必要な支援体制の確保に係る確認 ・岸壁管理者、荷主企業等の対応の確認 ・避難方法の確認 2 自主的な避難行動をとること ・避難に必要な支援体制を受けられない、岸壁が使用できない、荷役作業ができない等がある場合は、自主的に安全な海域に避難すること

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ ____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>（スマートフォンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

Cancellation of “Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)”, and The Announcement of Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)

The Large Tsunami Warning announced by the Japan Meteorological Agency for Osaka Prefecture was cancelled at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

The “Phase2(Recommendation to evacuate against Tsunami)” issued for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day) is cancelled.

The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert) has been announced by the Japan Meteorological Agency for Osaka Prefecture at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)” at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

Announced by the Japan Meteorological Agency	Category of Recommendation by Captain of the Port	Details of measures to be taken by vessels
The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert)	Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)	【All Vessels】 1 Vessels in the port are prepare for evacuation, and prepared to leave the port as needed. • Note information on Nankai Trough Earthquake announced by the Japan Meteorological Agency. • Confirmation regarding securing of support system necessary for evacuation. • Confirmation of correspondence of quay administrator and cargo handling companies. • Confirmation of evacuation 2 Take voluntary evacuation action. • Evacuate to safe sea area voluntarily when you can't receive necessary support system for evacuation, can't use quay ,can't handle cargo and so on.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan
Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (Smartphone site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Cell phone site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

津波注意報解除に伴う「第一体制(津波警戒勧告)」の解除及び南海トラフ地震臨時情報
(巨大地震警戒)発表に伴う「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」について

____月____日____時____分、気象庁から大阪府に発表されていた津波注意報は解除されました。
____月____日____時____分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に発出していた「第一体制(津波警戒勧告)」を解除します。

また、____月____日____時____分、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されています。

____月____日____時____分をもって、港則法第39条第4項に基づき阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に在港している船舶は「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」による措置を執るよう勧告する。

気象庁の発表	港長の勧告区分	船舶の措置内容
南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震 警戒強化（勧告）	【全船】 1 在泊船は避難準備を行い、必要に応じて直ちに出港 できるよう準備すること ・南海トラフ地震臨時情報等に係る情報の入手 ・避難に必要な支援体制の確保に係る確認 ・岸壁管理者、荷主企業等の対応の確認 ・避難方法の確認 2 自主的な避難行動をとること ・避難に必要な支援体制を受けられない、岸壁が使用 できない、荷役作業ができない等がある場合は、自 主的に安全な海域に避難すること

※ 港 長：阪神港長（大阪区・堺泉北区）及び阪南港長
勧 告：港則法第39条第4項に基づく勧告

※ 地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>（スマートフォンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, ____.

Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin

Captain of the Port, Hannan

Cancellation of “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)”, and The Announcement of Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)

The Tsunami Advisory announced by the Japan Meteorological Agency for Osaka Prefecture was cancelled at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day) .

The “Phase1(Recommendation for taking precaution against Tsunami)” issued for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan ____ (hour): ____ (minute) on (month) ____ (day) ____ is (are) cancelled.

The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert) has been announced by the Japan Meteorological Agency for Osaka Prefecture at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

Based on Article 39, Clause 4 of the Act on Port Regulations, vessels in the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan are concurrently advised to take the appropriate measures related to the “Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)” at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

Announced by the Japan Meteorological Agency	Category of Recommendation by Captain of the Port	Details of measures to be taken by vessels
The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert)	Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)	【All Vessels】 1 Vessels in the port are prepare for evacuation, and prepared to leave the port as needed. • Note information on Nankai Trough Earthquake announced by the Japan Meteorological Agency. • Confirmation regarding securing of support system necessary for evacuation. • Confirmation of correspondence of quay administrator and cargo handling companies. • Confirmation of evacuation 2 Take voluntary evacuation action. • Evacuate to safe sea area voluntarily when you can't receive necessary support system for evacuation, can't use quay ,can't handle cargo and so on.

* Captain of the port : Captain of the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan Advisory: based on ACT on Port Regulations Article 39 paragraph 4.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (Smartphone site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Cell phone site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact
Osaka Coast Guard Office,
Navigation Safety Division
TEL: +81-6-6571-0223

大阪港海難防止対策委員会
情報第____号
令和__年__月__日（__曜日）__時発表

関係機関 各位

令和 年 月 日

阪神港長
阪南港長

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)に伴う
「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」の解除について

____月____日____時____分をもって阪神港（大阪区・堺泉北区）及び阪南港に発出していた「南海トラフ地震警戒強化(勧告)」を解除します。

※____地震津波関連情報は、

- 第五管区 海の安全情報（沿岸域情報提供システム）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/>（パソコンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>（スマートフォンサイト）
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/>（携帯サイト）
- おおさかマーチス
国際VHF無線 CH16/13、14、66
により提供しています。

問合せ先
大阪海上保安監部航行安全課
TEL: 06-6571-0223

THE COMMITTEE OF PREVENTING MARITIME DISASTER IN OSAKA PORT

Bulletin No, _____.
Released at ____ T, ____ D, ____ M, ____ Y JST.

Month Date Year

Staff of Relevant Organizations and Bodies

Captain of the Port, Hanshin
Captain of the Port, Hannan

Cancellation of “Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation) ” Associated with The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert)

The “Phase1(Special cautions with The Nankai Trough Earthquake(Recommendation)” issued for the port of Hanshin (Osaka area and Sakai-Senboku area) and the port of Hannan ____ (hour): ____ (minute) on (month) ____ (day) ____ is cancelled.

* ____ earthquake and tsunami related information is provided by the following:

- Maritime Information and Communication System
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/osaka/> (PC site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html> (Smartphone site)
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/m/05kanku/osaka/> (Cell phone site)
- Osaka MARTIS
International VHF wireless CH16/13,14, 66

Contact Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division TEL: +81-6-6571-0223
--

日時：令和 年 月 日 時 分
宛先：大阪港海難防止対策委員会 委員各位
発信者：大阪海上保安監部航行安全課 (電話 0 6 - 6 5 7 1 - 0 2 2 3)

注意喚起

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）注意措置

阪神港長

阪南港長

令和●●年●●月●●日●●●●●（日本時間）、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表され、1週間経過したことから、次のとおり注意喚起します。

- 1 南海トラフ地震臨時情報に係る情報の入手に努めること
- 2 後発地震の発生に伴う津波警報等が発表された場合、直ちに港外避難が実施できるよう、情報伝達ルート、避難海域等を確認しておくこと

Released at	:	T,	D,	M,	Y	JST
To : The Committee Of Preventing Maritime Disaster In Osaka Port						
From : Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division (TEL : 0 6 – 6 5 7 1 – 0 2 2 3)						

Warning

Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert) (Precautionary Measures)

Captain of the Port, Hanshin

Captain of the Port, Hannan

One Week has passed since the announcement of the Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Alert).

We give warning as follows at ____ (hour): ____ (minute) on ____ (month) ____ (day).

1. Collect information related to the Nankai Trough Earthquake Extra Information.

2. If the Tsunami warning triggered by next coming earthquake is issued, make sure the emergency call tree, the sea area where you evacuate and so on so that you can evacuate from the port.

日時：令和 年 月 日 時 分
宛先：大阪港海難防止対策委員会 委員各位
発信者：大阪海上保安監部航行安全課 (電話 0 6 - 6 5 7 1 - 0 2 2 3)

注意喚起

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）

阪神港長

阪南港長

令和●●年●●月●●日●●●●●（日本時間）、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されたことから、次のとおり注意喚起します。

- 1 南海トラフ地震臨時情報に係る情報の入手に努めること
- 2 後発地震の発生に伴う津波警報等が発表された場合、直ちに港外避難が実施できるよう、情報伝達ルート、避難海域等を確認しておくこと

Released at : T, D, M, Y JST
To : The Committee Of Preventing Maritime Disaster In Osaka Port
From : Osaka Coast Guard Office, Navigation Safety Division (TEL : 0 6 – 6 5 7 1 – 0 2 2 3)

Warning

The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Attention)

Captain of the Port, Hanshin

Captain of the Port, Hannan

The Nankai Trough Earthquake Extra Information (Megathrust Earthquake Attention) had been announced by the Japan Meteorological Agency at ____ (hour): ____ (minute) on _____ (month) _____ (day).

We give warning as follows:

1. Collect information related to the Nankai Trough Earthquake Extra Information.

2. If the Tsunami warning triggered by next coming earthquake is issued, make sure the emergency call tree, the sea area where you evacuate and so on so that you can evacuate from the port.

大阪府津波対策分科会

令和 6 年 6 月 26 日現在

順不同

大阪管区气象台気象防災部

近畿運輸局海上安全環境部

近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所

大阪湾水先区水先人会

大阪府危機管理室

大阪府環境農林水産部水産課

大阪府都市整備部事業調整室都市防災課

大阪水上警察署

大阪府タグ事業協同組合

大阪フェリー連絡会代表

堺泉北船舶安全協議会

堺泉北臨海特別防災地区協議会

堺・泉北地区海上共同防災組織

阪南港運株式会社（業務部長）（阪南港関係）

出光興産株式会社岸和田油槽所（所長）（阪南港関係）

不二製油株式会社阪南事業所安全環境グループ（リーダー）（阪南港関係）

大阪港湾局

（事務局）大阪海上保安監部

※ 分科会は必要に応じて関係者の出席を要請することができる。

大阪市津波対策分科会

令和6年6月26日現在

順不同

大阪管区气象台気象防災部

近畿運輸局海上安全環境部

近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所

大阪湾水先区水先人会

大阪府都市整備部事業調整室都市防災課

大阪水上警察署

大阪水上消防署

阪神国際港湾株式会社大阪事業本部

大阪港運協会

大阪海運組合

全国内航タンカー海運組合代表

株式会社商船三井海上安全部部長代理

株式会社商船三井さんふらわあ代表取締役社長

川崎汽船株式会社関西支店支店長

日本郵船株式会社関西支店支店長代理

大阪フェリー連絡会代表

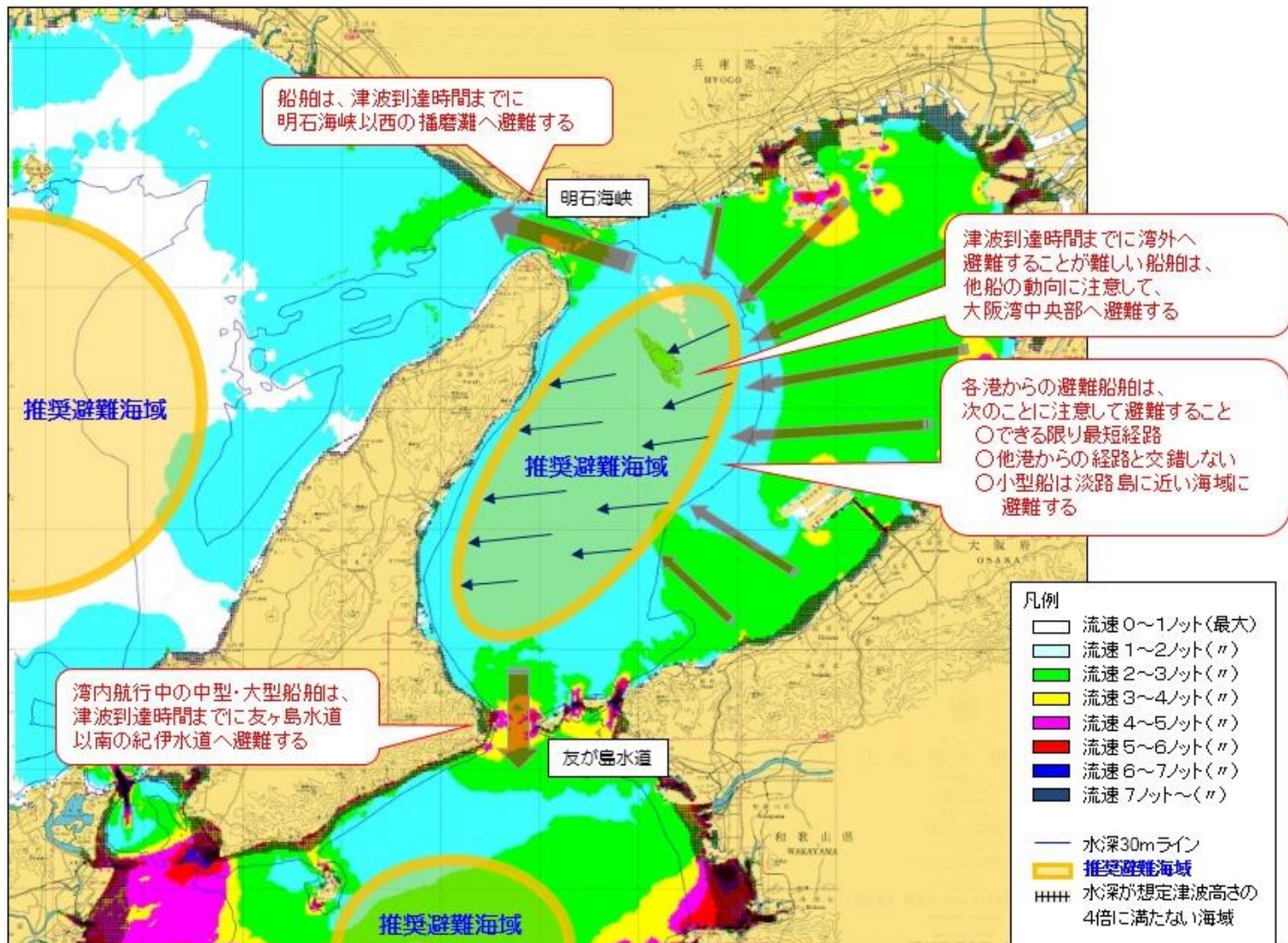
築友会代表

大阪港湾局

(事務局) 大阪海上保安監部

※ 分科会は必要に応じて関係者の出席を要請することができる。

大阪湾における推奨される避難海域図（概略図）



■大阪湾の避難海域の条件

条件①：水深はできる限り、30m以深の海域とすること

条件②：津波の流速は2ノット以下とすること

■大阪湾の避難ルール

- (1) 湾内航行船舶は、明石海峡方面または友ヶ島方面から湾外で避難する。
- (2) 各港からの避難船舶において、明石海峡を通過できるものは播磨灘へ避難する。
- (3) 小型船は、淡路島寄りに避難する。
- (4) 避難海域へはできる限り最短経路を航行する。
- (5) 避難海域へは他の港からの経路と交錯しないような経路を選択する。

(出典：第五管区海上保安本部交通部)